

V 研究・研修及び実習・講師派遣

1 診療関係研究

令和元年度C. P. C開催内容

通 常 型	開催番号	年月日	剖検番号	症例事項名	主治医	病理担当
	第391回	9月10日	A-6103	胃神経内分泌細胞癌	久 武 裕 太	折 笠 英 紀
	第392回	11月12日	A-6105	急性骨髄性白血病	相 馬 裕 樹	堀 井 千 裕 杉 浦 仁
	第393回	12月17日	A-6116	腹部大動脈瘤	高 橋 吾 朗	折 笠 英 紀
	第394回	2月18日	A-6109	化膿性血栓性静脈炎	杉 浦 耀 一	堀 井 千 裕 杉 浦 仁
	第395回	3月10日	A-6110	胃癌	花 田 亮 太	折 笠 英 紀

各診療科カンファレンス状況

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
内 科	週1回	週1回	月1回	内科（週2回）総合内科（週1回） 循環器（週1回）内視鏡（週1回） リウマチ（週1回） 腎臓（週1回） 神経（週1回）呼吸器（週1回） 総診（週1回）消化器（週1回）
精 神 科	週1回			病棟カンファレンス（週1回） 医局カンファレンス（週1回） 病棟回診（週1回）
小 児 科 新生児内科	週1回	週1回		神奈川県下10病院合同症例検討会（年1回） 川崎市小児科医会症例検討会（年2回） 病棟回診（週2回） カルテ回診（週1回） 慶大小児科高橋教授回診（月2回） X線画像カンファレンス（週1回） 症例検討会（月2回）
外 科	週1回	月1回		部長回診（週1回） 術前・術後カンファレンス（各週1回） 消化器カンファレンス（隔週） 救急外科カンファレンス（不定期） 合併症カンファレンス（不定期）
脳神経外科	週4回	適宜		脳神経カンファレンス（週1回） カルテ回診（週1回） 術前カンファレンス（週1回） 病棟カンファレンス（週1回）
整 形 外 科	週1回	適宜	年2回	X線画像カンファレンス（週5回） 入院患者カンファレンス（週1回） 全体カンファレンス（月1回）
形 成 外 科	週1回	月1回	年2回	術前カンファレンス（週1回） 抄読会（月1回） 同門会（年2回）
心臓血管外科	週1回			循環器合同（週1回） 術前カンファレンス（週1回）

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
皮 膚 科	週1回	適宜		皮膚病理（週1回） 市皮膚科医会症例検討（年2回） 県7病院症例検討会（年3回） 臨床画像カンファレンス（週1回）
泌 尿 器 科	週2回			術前カンファレンス（週1回） 病棟カンファレンス（週1回）
産科・婦人科	週1回		年2回	ハイリスク症例検討（週1回） 手術症例検討会（週1回） 勉強会（月2回） カルテ回診（週1回） 放射線カンファレンス（年4回）
眼 科	週1回	月2回	年1回	症例検討カンファレンス（週1回）
耳 鼻 咽 喉 科	週4回	月2回		術前カンファレンス（週1回） 病棟カンファレンス（週1回） 癌治療カンファレンス（週1回） 耳鼻科・放射線合同カンファレンス（週1回） 耳鼻科・リハ科合同嚥下カンファレンス（月1回）
放射線診断科	週4回	適宜		放射線科画像カンファレンス（週1回） 消化器画像カンファレンス（月2回） 小児科画像カンファレンス（週1回） 産婦人科画像カンファレンス（年4回） 呼吸器画像カンファレンス（週1回） 脳神経カンファレンス（週1回）
放射線治療科	週1回			耳鼻科・放射線治療科合同カンファレンス（週1回） 呼吸器合同カンファレンス（週1回）
麻 酔 科	毎日	月2回		術前カンファレンス（週5回）
リハビリテーション科		月1回		耳鼻科・リハビリテーション科合同嚥下カンファレンス（月1回） 摂食嚥下ランチ回診、カンファレンス（月2回） 脳神経外科病棟カンファレンス（週1回） 整形外科カンファレンス（医師：週1回、療法士：週2回） SCU部会（月2回） NSTカンファレンス（週1回） NST部会（月1回） NST回診（週2回） 神経内科カンファレンス（週1回）
歯科・口腔外科	週1回	適宜	年3回	カンファレンス（週1回） 川崎病院症例検討会（年3回）
救 急 科	週14回	月4回		総合カンファレンス（月4回）、症例検討会（週14回） 救急科・外科合同カンファレンス（適時）
病理診断科	毎日			症例検討会（毎日）、消化器カンファレンス（月1回）

2 院内研究交流会 令和2年2月25日(火) 17:30~20:00

演 題	演 者	所 属
救命救急センターにおける人材育成のためのキャリアパス作成	古瀬美穂 近藤志津 小澤康子 小野幸子 櫻井麻美 鶴田典子 下野一子 田中君枝	看護部 救命救急センター
特定看護師としての活動報告	佐藤江利子 牛込志乃	看護部 特定看護師 皮膚・排泄ケア 認定看護師
「臨床研究を始める時って何するの？」 ～当院における臨床研究申請の道しるべ～	鈴木留美 北田伸子 宮下安子 津村和大	臨床研究支援室 糖尿病内科
働き方改革を契機に考えた研修医の労働環境とこころの健康	安藤 拓 渦川 真優子	初期研修医
NST専従管理栄養士の業務改善に関する報告	長澤恵梨子 中山果穂 小笠原美穂 清水谷弘美 小野玲子 太田博子	食養科
看護部との連携向上に向けたリハビリテーション科の取り組み ～看護師への早期離床講習会を通じて～	中村優太 山本美夕紀 坂内大祐 佐藤直人 林奎二郎 薮正樹 小田桐航太 橋本祥太朗 小島巖 久永希 吉野奈生子 佐藤栄司 野田剛 阿部玲音 三好しのぶ 高橋貴子 甲斐瑞恵 田中君枝 古山美佐	リハビリテーション科 看護部

演 題	演 者	所 属
大型で猛烈な勢力の台風への備えと今後の課題 ～台風 19 号による計画運休への事前対策の検討と実施の報告～	田中君枝	看護部 救命救急センター
川崎市におけるA型肝炎の発生状況-近年の特徴について	東川康嗣 石原啓成 児玉充輝 佐久間萌子 島 優作 曾賀野純希 園田啓太 西元ゆい 松井友哉 山根聖弘 津村和大 田中 友 池田史朗 丸山 絢 駒根綾子 清水英明 三崎貴子 岡部信彦	初期臨床研修医 内科・教育指導部 川崎市健康安全研究所
当院における特定妊婦の実態	桑名温子 清河駿樹 大橋千恵 石垣順子 鈴木毅 金善恵 樋口隆幸 染谷健一 中田さくら	産婦人科
当院腎臓内科外来への医療需要について ～当科への初診紹介患者に関する分析から～	安藤孝 有馬功一郎	腎臓内科
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における 肩甲骨部皮膚損傷発生の要因分析と予防策の評価	今はるな 元麻李 小川千晶 久野昭子	看護部 手術室
当院における認知症ケアチームの活動報告	北蘭久雄 高畑良子 斉藤久美子 甲斐瑞恵 古山美佐 野崎博之	神経内科 看護部 医事課
急性期病棟で実践可能なACPの検討 治療選択に困難を抱えたがん患者の一事例より	鳥海幸恵	看護部 14 階南病棟

演 題	演 者	所 属
NICU・GCUにおけるMRSA検出減少へ向けた取り組み	三津田舞 加瀬江利子 折見由利子 井原正人	看護部 8階西病棟 感染対策室 感染対策チーム

3 看護研究発表会

(1) 事例研究発表一覧

ア 第22回院内発表会 1日目 令和2年2月1日(土)

講師 神奈川県立保健福祉大学 川崎市立看護短期大学

氏名 漢字	病棟	テーマ
南野 咲果	8W	超低出生体重児を出産した母とのかかわりを通して学んだこと～母が不安を表出するためのかかわり —死産を経験した母親との関わりを振り返って
北野 樹里	8W	早産・極低出生体重児と家族の愛着形成を支援する看護
野口 可愛	14N	終末期にある患者との関わり方 —ジレンマを抱えた新人看護師にできる看護とは
坂本 佳央理	14N	呼吸困難により歩けなくなるという不安を抱いた患者への看護を考える —不安の軽減と患者の身体症状に合わせた関りについて
中川 琴音	14N	認知症高齢患者とのかかわりを通して学んだこと —せん妄症状に対する看護について
渡部 聖菜	14N	終末期がん患者のかかわりを通して学んだこと —呼吸困難感を緩和させるケアを振り返って
田村 菜緒	13N	急激に体動困難となった患者の苦痛に対して関わったこと
田島 安李咲	13N	心不全末期患者における呼吸困難に対する症状緩和について —非がん疾患患者への緩和ケア
木村 友実	13N	終末期患者との関わりを振り返って学んだこと —患者が表出しやすい環境を作るために看護師ができること
生田 彩乃	12S	癌性髄膜炎患者の自宅退院への支援 —入院前よりADLが低下した患者の家族に対しての効果的な関わり
廣川 芽衣	12S	苦痛を訴える患者との関わりについて —精神的苦痛を理解することの重要性
秀野 江里	12S	終末期がん患者の苦痛を軽減させるためのケア
中島 舞	12S	認知症患者にとって寄り添う看護とは —ユマニチュードを用いた関わりを通して
岡崎 舞美	12S	脳梗塞により右麻痺が出現した患者の看護 —自己効力感の向上に向けた関わり
木村 明優	12N	経口的下咽頭部分切除後の患者が意欲的に嚥下訓練を継続するために
武田 茜	12N	緊急で気管皮膚瘻造設術を行った患者の受容過程に沿った看護 —フィックの危機モデルを用いて考察する

尾崎 菜穂	11S	乳がん術後、ボディイメージ変化の看護 ―初回創傷処置指導場面で学んだこと
名取 愛海	11S	意思表示が少ない終末期患者の看護
中村 史帆	11S	肺葉切除後・肺炎による呼吸困難感を訴える患者への関わり ―プロセスレコードによる自己の振り返り
菴田 匠	11S	終末期がん患者と残される家族との看護師の関わり ―家族とのコミュニケーションに焦点を当てて～
鳴海 栞	8S	ネフローゼ症候群に罹患した子どもを持つ家族との関わりを振り返って ―家族の思いやストレスを理解した看護の必要性
稲澤 美鈴	8S	思春期の児への指導方法を通して学んだこと
足立 夏海	8S	アトピー性皮膚炎の学童児に対するスキンケアの場面の振り返り

イ 第22回院内発表会 2日目 令和2年2月22日(土)

講師 川崎市立看護短期大学

氏名 漢字	病棟	テーマ
星 さやか	OP	手術室新人看護師の陥りやすい心理 ―手術室における羞恥心に配慮した関わりに焦点を当てて
今井 咲良	9S	患者の突然の死に直面する家族との関わりを通して学んだこと ―最期の時間に看護師が家族にできること
原田 瑞希	9S	挿入物の理解がある患者への抑制を通して学んだこと ―気管挿管管理をしていた壮年期の患者を受け持つ
城下 理穂子	9S	急性期における認知症患者へのアプローチ方法 ―症例比較から見えてきたこと
加賀美 遥	9S	人工呼吸器管理中の患者との関わりを通して学んだこと ―Light sedationの患者が感じる違和感について
堀越 愛理	9S	患者の急激な状態変化による葛藤や不安を抱く家族への看護師の関わり ―フィングの危機モデルを用いた分析
北村 めぐみ	11N	緊急でストーマを造設した患者の退院指導 ―試験外出を通して学んだこと
佐々木 遥香	14S	癌性疼痛を抱える患者との関わりを通して学んだこと
中村 優里	14S	ケアを拒否する患者への関わりを通して学んだこと ―身体的・心理的・社会的側面を考えた関わり～

榊 美優	14S	認知症患者との関りで学んだこと —同じ発言がみられる患者とのコミュニケーション方法
當山 裕香	14S	癌の骨転移と関節痛がある患者との関わりを通して学んだこと
田島 歩美	13S	初回化学療法を受けるがん患者との関わりで学んだこと —告知を受けた患者の疾病受容
伊藤 知沙	13S	身体抑制が必要な患者との関わりを通して学んだこと —苦痛を軽減するために看護師ができること
鈴木 望	11N	患者の立場・視点で関わることの大切さについて —副担当看護師として受け持った患者との関わりから
石井 麻衣	10S	人工股関節全置換術後に脱臼が生じた患者との関わり —脱臼予防のための日常生活動作における指導の振り返り
島村 佳帆	10S	整形外科治療により床上排泄となった成人期患者のニーズに応じた看護 —排泄に対する看護援助を通して
渡辺 理沙	10N	リハビリが進まない患者との関わりを通して学んだこと —積極的な行動がみられないA氏への対応を振り返って
遠藤 廉	10N	患者のアドヒアランスの向上に向けて —足部壊疽にて足趾を切断した糖尿病患者に対する退院指導
鎌賀 智帆	10N	転倒リスクのある高齢者に対する看護 —入院中に転倒を繰り返した患者との関わりを通して
土岐 歩美	8N	緊急帝王切開を受けた褥婦の看護の振り返り —産後の心理過程を追いながら

(2) 看護研修

ア 第74回院内発表会 令和2年1月30日(木) 17:15~19:30

講師：武蔵野大学 香春 知永

	所属	テーマ	メンバー
1	9S	救命救急センターにおける実地指導者が新人指導に抱える不安や悩み	○藤島諒 庄司圭佑
2	14N	2年目看護師が認識する業務の現状と支援方法を検討する —実態調査から明らかにする—	○阿部真由美 高橋澄 江 平戸景子 尾寄 芹奈
3	12S	個別性を反映させた看護記録について —スタッフの意識調査からの課題—	○岩佐祐子 会津あゆみ 佐藤律子

4	OP 室	A 病院における術前口腔ケアの現状	○高橋貴子
5	11N	インシデントやアクシデント後のソーシャル・サポートに関する実態調査	○水嶋真帆 桃澤すみ れ 和久井香菜恵
6	9S	救命救急センターにおけるデスレビューの実践と効果 —ER/救命救急病棟でのカンファレンス定着に向けた取り組み—	○森玲奈 寺井晴香 上野僚 増田麻乃 長谷川加奈
7	14S	人生の最終段階における医療・ケアの意思決定について —当院看護師がもつ認識—	○鳥海幸恵 塩津末季

4 研修

(1) 看護部 院内研修実施状況

No.	研 修 名	研 修 内 容	実施年月日	参加者 人 数	会 場	講 師
1	新人看護職員入職 ガイダンス	病院長あいさつ 副院長兼看護部長講話 看護部概要・看護部組織 活動 電子カルテ基本操作 三役紹介 事務連絡 自治会活動 防災、勤務管理、職員衛生 職員ファイル、BLS	2019/4/1 (半日) 2019/4/4 (1日) 2019/4/5 (1日)	4月採用 者 51名	7階講堂	金井院長 千島副院長 兼看護部長 古山副看護部 長 庶務課、 管理係 院内救急対策 部会 教育委員会
2	新採用者看護技術 演習	採血・血糖測定・インス リン皮下注射・静脈注 射・点滴管理・輸液ポン プ・シリンジポンプ操 作・清潔操作・酸素吸 入・ネブライザー・吸 引・オムツ交換・体位変 換ポジショニング・食事 介助・経腸栄養・移動解 除（移送移譲）	2019 4/8、4/15 4/22、5/7 5/13	4月新規 採用者47 名	7階講堂	教育委員会 認定看護師 副主任会 院内救急対策 部会
3	新人看護職員研修 安全な看護を提供 するために①	薬剤管理の基礎知識 安全な与薬方法 インシデント教訓事例 からの学び 安全な看護を提供する ということ（グループワ ーク）	2019/5/20 (1日)	4月新採 用者 51名	7階講堂	薬剤部係長 担当係長 副主任 教育委員会

4	キャリア留学	希望部署での研修	6月～10月	ラダー Ⅲ・Ⅴ 23 名	各部署	教育委員会
5	急変時の対応～A C L Sを学ぼう・ 上級編～	患者急変時のマネジメ ントについて講義、演習	2019/6/10 (半日)	ラダー Ⅳ・Ⅴ 13名	7階講堂	教育委員会 認定看護師
6	新人看護職員研修 院内感染を防止す るために	感染防止における看護 師の役割 安全防止の実際	2019/6/17 (1日)	4月新採 者 47名	7階講堂	感染対策室 教育委員会
7	看護補助者研修	口腔ケアについて	2019/8/27	36名	7階講堂	主任会
8	意思決定支援研修 患者の意思決定と は何かを考えよう	講義・演習	2019/7/22 17:30～ 18:30	ラダーⅡ 以上 28 名	7階大会議 室	教育委員会 認定看護師
9	急変時の対応～A C L Sを実践しよ う・中級編～	救急時のリーダーシッ プがとれるよう知識、演 習	2019/7/24 (半日)	ラダーⅢ 18名	7階講堂	教育委員会 認定看護師
10	A C L S 初級編	急変時に対する一連の 流れを理解する。(特に 気管内挿管の介助)	2019/9/30 (半日)	4月新採 者 44名	7階講堂	教育委員会 認定看護師
11	入退院を繰り返す 患者の看護ケア	基本的知識、演習	2019/10/25 、11/29、 12/18 17:15 ～ 18:15	ラダー Ⅳ・Ⅴチ ャレンジ 18名	7階講堂 7階大会議 室	教育委員会 認定看護師
12	新人看護職員研修 安全な看護を提供 するために②	危険予知に関する視点 を持つことの重要性に ついて理解できる。 KYT (グルーブワーク)	2019/10/28 (半日)	4月新採 者 44名	7階講堂	認定看護師
13	看護補助者研修 ①②	医療制度の概要及び病 院の機能と組織の理解 他	① 2019/6/26 ② 2019/11/26	①131名 ②83名	7階会議室	教育委員会
14	看護補助者研修	認知症ケアについて	2019/11/26	34名	7階大会議 室	主任会
15	重症度、医療・看 護必要度研修	重症度、医療・看護必要 度の基礎(必要度の意 義、評価項目の構成、評 価方法) 重症度、医療・看護必要 度の評価と記録	2019/10/7 2019/11/8 2019/12/11 2020/1/14	144名 112名 134名 82名	7階講堂	記録委員会
16	看護記録研修	看護記録とは	2019/11/11 2019/11/26 2019/11/28	57名	7階大会議 室 4階会議室	記録委員会

17	看護師が行う早期離床のためのリハビリテーション研修	講義・演習	2019/12/13	38名	7階講堂	教育委員会 リハビリ科
18	急変時の対応～ACLSを实践しよう・フォローアップ～	様々な急変事例を用いて演習	2020/1/22	ACLS中級・上級研修に参加した28名	7階講堂	教育委員会 認定看護師
19	キャリアアップニュース	研修報告・最新の知識	2020/2/10	64名	7階講堂	教育委員会
20	看護補助者研修	感染対策について	2020/1/27	30名	7階大会議室	主任会

(2) 病院局研修実施状況

月	日(曜日)	研修名	参加人数	会場	講師
4	15日(月)	臨地実習指導者研修①	16名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
	26日(金)	新規採用者研修 専門職として学ぶということ	48名	フロラシオン	神奈川県立保健福祉大学 他 非常勤講師 植垣一彦
5	24日(金)	リーダー役割準備研修①概論	28名	フロラシオン	東京医療保健大学 准教授 末永由理
6	7日(金)	新規採用者研修 新人のための夜勤準備研修	45名	フロラシオン	集中ケア認定看護師 井田病院 吉田龍也 先輩看護師 両病院から1名ずつ
	21日(金)	受持ち看護師役割研修	44名	フロラシオン	川崎病院 平良看護師長 井田病院 三好看護師長
7	4日(木)	看護記録監査研修①	24名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
	19日(金)	リーダー役割準備研修②実践編	28名	フロラシオン	川崎病院 スーパージェネラリスト 近藤志津
8	23日(金)	新規採用者研修 新人のための看護実践強化研修	44名	フロラシオン	井田病院 集中ケア認定看護師 宮崎奈々 吉田龍也
9	6日(金)	新人実地指導者研修②	17名	フロラシオン	神奈川県立保健福祉大学 他 非常勤講師 植垣一彦

	26 日 (木)	看護記録研修 応用編	24名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
10	7 日 (月)	新規採用者研修 看護記録研修 基礎編	44名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
	18 日 (木)	看護記録監査②	237 名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
11	10月～ 12月	訪問看護ステーション研修	26名	フロラシオン	訪問看護ステーション 担当者
	8 日 (金)	受持ち看護師のためのフィジ カルアセスメント	44名	フロラシオン	川崎病院 集中ケア認定 看護師 高橋貴子
12	2 日 (月)	看護単位におけるリーダー役 割研修①	27名	フロラシオン	国立看護大学校 講師 藤澤雄太
	7 日 (土)	チームにおけるリーダー役割 研修	27名	フロラシオン	東京医療保険大学 教授 末永由里 井田病院 大溝担当課長 アドバイザー 看護師長
1	24 日 (金)	新規採用看護職員研修 患者にとって最善な看護を 提供するとは	42名	フロラシオン	川崎病院 中村副主任 長田副主任 神奈川県立保健福祉大学 他 非常勤講師 植垣一 彦
2	4 日 (金)	看護倫理研修	32名	フロラシオン	聖路加国際大学 准教授 鶴若麻理
	10 日 (月)	臨地実習指導者研修②	16名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
	21 日 (金)	新人実地指導者研修③	17名	フロラシオン	神奈川県立保健福祉大学 他 非常勤講師 植垣一彦
3	2 日 (月)	令和2年度新人実地指導者研 修①	17名	フロラシオン	神奈川県立保健福祉大学 他 非常勤講師 植垣一彦
	6 日 (金)	看護単位におけるリーダー役 割研修②	27名	フロラシオン	井田病院 大溝担当課長 アドバイザー 看護師長

5 院外看護活動（DMAT 訓練等）

日程	活動名	対象	場所	参加者
5 月 26 日	保健医療調整本部訓練（急性期医療）	川崎 DMAT	川崎市役所第 3 庁舎	森
9 月 7 日	大規模地震時医療活動訓練	神奈川 DMAT	川崎病院	塚田・内海(聡)・古瀬・佐藤・庄司・森・青木・戸嶋・清水・吉田・吉川・松下
9 月 8 日	川崎市総合防災訓練 @幸区	川崎 DMAT	河原町団地小学校グラウンド	稲葉・岡部
9 月 30 日～ 10 月 1 日	日本 DMAT 技能維持研修	日本 DMAT	大田区産業プラザ	内海(聡)
10 月 5 日	多摩川花火大会医療救護	川崎 DMAT	多摩川河川敷	清水・庄司
10 月 27 日	災害時病院連携訓練(南部)		川崎病院	吉田・小高
11 月 2 日	【実働】 国道 409 号線浮島付近、追突事故による挟まれ外傷	川崎 DMAT		清水
11 月 17 日	災害時病院連携訓練(中部)		川崎病院	塚田・青木
12 月 13 日～ 14 日	神奈川 DMAT-L 隊員養成研修	川崎 DMAT	平塚市立看護専門学校	吉田
12 月 15 日	災害時病院連携訓練(北部)		川崎病院	服部・戸嶋
12 月 17 日	【実働】 湾岸線交通事故	川崎 DMAT	首都高速湾岸線	吉田
1 月 17 日	川崎 DMAT 隊員養成研修事前勉強会		川崎病院	内海(れ)・森居・藤田・内海(聡)
1 月 24 日	川崎 DMAT 隊員養成訓練		犬蔵訓練施設	内海(れ)・藤田・森居・古瀬・松本・内海(聡)・稲葉・吉田・森
2 月 6 日	【実働】 クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」COVID-19 養 成患者搬送	神奈川 DMAT	大黒ふ頭	服部
2 月 19 日～ 21 日	【実働】 神奈川 DMAT 調整本部活動	神奈川 DMAT	神奈川県庁	内海(聡)

6 各科別実習状況報告

科・部	学校・病院名	人数	科・部	学校・病院名	人数
内科・総合内科	愛媛大学	1名	小児科	東邦大学	1名
	大分大学	1名		獨協医科大学	1名
	香川大学	1名		富山大学	1名
	北里大学	3名		広島大学	1名
	九州大学	1名		山梨大学	1名
	熊本大学	2名		横浜市立大学	2名
	群馬大学	1名		琉球大学	1名
	慶應義塾大学	12名	産婦人科	関西医科大学	1名
	埼玉医科大学	1名		岐阜大学	1名
	産業医科大学	1名		慶應義塾大学	1名
	滋賀医科大学	1名		東京医科歯科大学	1名
	島根大学	1名		東京慈恵会医科大学	1名
	昭和大学	5名		東京女子医科大学	1名
	信州大学	1名		獨協医科大学	1名
	千葉大学	3名		日本大学	1名
	筑波大学	2名		弘前大学	1名
	帝京大学	1名		北海道大学	1名
	東京医科歯科大学	2名		山形大学	1名
	東京慈恵会医科大学	4名	救急科	香川大学	1名
	東京女子医科大学	2名		熊本大学	1名
	東邦大学	1名		久留米大学	1名
	徳島大学	1名		慶應義塾大学	4名
	富山大学	1名		埼玉医科大学	2名
	名古屋市立大学	1名		滋賀医科大学	1名
	日本医科大学	1名		島根大学	2名
	福岡大学	1名		昭和大学	1名
	山梨大学	1名		千葉大学	3名
	横浜市立大学	1名		帝京大学	1名
	琉球大学	2名		東海大学	2名
外科	群馬大学	2名		東京医科大学	1名
	慶應義塾大学	4名		東京医科歯科大学	1名
	千葉大学	1名		東京慈恵会医科大学	1名
	横浜市立大学	1名		東京女子医科大学	2名
	山梨大学	1名		東邦大学	2名
精神科	昭和大学	1名		東北大学	1名
	聖マリアンナ医科大学	1名		獨協医科大学	1名
	東京慈恵会医科大学	1名		奈良県立医科大学	1名
小児科	大阪医科大学	1名		新潟大学	1名
	熊本大学	1名		浜松医科大学	1名
	慶應義塾大学	3名		ハンガリー Semmelweis大学	1名
	順天堂大学	1名		広島大学	1名

科・部	学校・病院名	人数
救急科	福島県立医科大学	1名
	北海道大学	1名
	宮崎大学	1名
	山梨大学	1名
	横浜市立大学	2名
	琉球大学	1名
整形外科	大分大学	1名
	北里大学	1名
	慶應義塾大学	1名
	聖マリアンナ医科大学	1名
	東邦大学	2名
	遼寧医学院	1名
形成外科	杏林大学	1名
脳神経外科	慶應義塾大学	1名
	千葉大学	1名
泌尿器科	滋賀医科大学	1名
麻酔科	順天堂大学	1名

※ 平成28年度から、現役研修医の見学は数値から除外している。

7 講師派遣実施状況

(1) 看護師

氏名	派遣場所	担当科目	日程
三津田 舞	新採医師オリエンテーション (教育指導部)	感染防止対策研修	4月5日
土屋 千恵子	川崎糖尿病懇話会	糖尿病市民講座	4月6日
高橋一子	川崎糖尿病懇話会	糖尿病市民講座	4月6日
小澤 康子	新採医師オリエンテーション (教育指導部)	採血・静脈路確保・酸素療法実習	4月10日
鳥海 幸恵	病院局 新人研修	看護倫理	4月12日
原田 直子	病院局 新人研修	看護記録	4月12日
渡邊 恭子	聖マリアンナ医科大学	がん薬物療法部会ピアレビュー	4月18日
館山奈緒子	小野薬品	CKD-MBD EXPERT SEMINAR 座長	4月19日
土屋 千恵子	川崎市看護協会	新人看護職員研修「インスリンの取扱い・血糖測定」	6月7日
達かおり	川崎市看護協会	新人看護職員研修「フィジカルアセスメント」	6月18日
前田奈緒美	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅳ (慢性期にある人の看護)	6月18日
三好しのぶ	病院局	受け持ち看護師役割研修	6月21日
遠藤康	病院局	新人のための夜勤準備研修	6月7日
高畑良子	川崎市立看護短期大学	老年看護方法Ⅰ (生活機能の維持増進)	7月5日
田中君枝	川崎市立看護短期大学	看護管理の実際	7月19日
近藤志津	病院局	リーダー役割研修② (実践編)	7月19日
吉川紀子	川崎市立看護短期大学	テーマ別看護論 (家族看護論)	7月29日
塚田千代	川崎市看護協会	災害時看護研修会	8月23日
土屋 千恵子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ (糖尿病の看護)	9月6日
土屋 千恵子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ (糖尿病の看護)	9月11日
田中有子	社会福祉法人虹の会	保育園・病児保育施設における視診のポイント及び急変時の対応	9月13日
永田修一	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅴ (周手術期にある人の看護)	9月17日
塩津末季	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅱ (精神的苦痛と援助)	9月26日
久野 昭子	川崎市看護短期大学	成人看護方法Ⅴ:手術室入室から退室までの看護 2コマ	9月27日
塩津末季	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅱ (精神的苦痛と援助)	10月3日
福島貴子	川崎看護専門学校	臨床看護技術Ⅰ	10月4日
岩本祥子	川崎看護専門学校	老年健康支援論Ⅰ (人工肛門を持つ患者の看護)	10月28日
小澤 康子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ (クリティカルケア)	11月12日
小澤 康子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ (クリティカルケア)	11月19日
高橋貴子	病院局	受け持ち看護師のためのフィジカルアセスメント研修	11月8日
鈴木見香	川崎看護専門学校	成人健康支援論	11月12日
鈴木見香	川崎看護専門学校	成人健康支援論	11月19日
長澤聖子	川崎看護専門学校	母性発達支援論Ⅱ	11月15日・22日・29日
高橋貴子	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修①	12月2日
三好しのぶ	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修①	12月2日
田中君枝	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修①	12月2日
甲斐瑞恵	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修①	12月2日
牛込志乃	日本看護協会	特定行為研修「演習支援・フィジカルアセスメント」	12月13日
高橋一子	日本糖尿病教育・看護学会	糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修会	12月21日・22日
吉川紀子	川崎市立看護短期大学	小児看護方法	1月23日
中村静枝	病院局	患者にとって最善看護を提供するとは	1月24日
長田さやか	病院局	患者にとって最善看護を提供するとは	1月24日
高橋貴子	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修②	3月6日
三好しのぶ	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修②	3月6日
田中君枝	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修②	3月6日
甲斐瑞恵	病院局	看護単位におけるリーダー役割研修②	3月6日

(2) 医師

派遣場所	川崎市立看護短期大学			学年学期	2年次 前期・後期
科目名	病態治療学Ⅲ・Ⅳ	単位数	各1単位(必修)	科目区分	人間と健康
担当者	掛札敏裕 市東昌也 夏 錦言 倉田忠宜 今西智之 澤藤 誠 西脇正夫 森 厚夫 齋藤 豊 増田純一 藤岡俊平 佐藤陽一郎 宮川俊一 原 智				

「授業概要」

病態治療学Ⅲ・Ⅳでは、手術療法と血管塞栓術などの手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治癒による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

小児科は内科と重複する疾患が多いですが、年齢によって疾患の傾向が違います。それは、患者さんが成長していくからです。この講義の目的は、そのような特殊性を加味して、小児疾患を理解することにあります。

生殖器・特殊感覚器疾患については、手術療法と血管塞栓術など手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治療による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

「授業計画」

病態治療学Ⅲ	病態治療学Ⅳ
1 手術学総論 適応	1 小児1：総論
2 手術学総論 術前検査	2 小児2：新生児
3 手術学総論 術後管理	3 小児3：乳児
4 内視鏡下手術 総論	4 小児4：幼児
5 内視鏡下手術 各論	5 小児5：学童、思春期
6 I V R	6 産科手術
7 手術学各論 脳神経外科	7 婦人科手術
8 外科	8 産科正常編
9 呼吸器外科	9 産科異常編
10 整形外科	10 眼科
11 心臓外科	11 耳鼻咽喉科
12 救急	12 皮膚科
13 麻酔	13 泌尿器科
14 心肺蘇生	14 まとめ1
15 まとめ	15 まとめ2

(3) 薬剤師

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間	回 数
長谷川 圭子	川崎看護専門学校	病態薬理学	4月～6月	7回

(4) 臨床検査技師

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間
鈴木 玲子	神奈川県立衛生看護専門学校	妊娠期の診断技法 超音波検査	6月7日

VI 臨 床 研 修 概 要

1 経 緯

(1) 病院の沿革・特徴

昭和2年、伝染病組合病院が川崎市立病院に改称、昭和11年、大規模改築、昭和20年6月1日に総合病院となり、その後建物、設備、診療科の増設を逐次行い、市民の医療の中樞を担う病院に発展してきました。

昭和40年、救急指定病院となり、昭和42年には研修医制度が発足しました。それ以降、各学会の指定医の研修施設に指定され、昭和63年には、外国人医師等を対象とした臨床修練指定病院となりました。

また、平成10年4月から総合診療科を設置したことに伴い、新たに後期臨床研修も実施しています。

なお、平成7年から全面改築を進めてきましたが、平成10年11月病棟・中央診療棟が完成し、そして平成12年4月、新外来棟がオープンしたことにより、当院を取り巻く医療環境は、大幅に改善されたばかりでなく、導入された総合医療情報システムや搬送システムが完全に稼動し、機能面でも一段とアップしました。

(2) 初期臨床研修

当院の臨床研修制度は、昭和42年4月に発足し、既に53年が経過しています。最初の10年間は研修期間4年のレジデント制度として行われ、昭和52年からは2年間の臨床研修制度となりました。

また、当初の12年間は学制と同じく4月に始まり、3月に終わる制度でありましたが、研修医内定者のうち医師国家試験に不合格となるものがあり、厚生省の指導や欠員を配慮して昭和54年からは6月開始・5月修了に改められました。そして、平成5年に至り医師国家試験の期日が3月に変更されたことに伴い、5月開始・4月修了という新たな制度に生まれ変わりました。

昭和50年度までは単一専門科か専門科と関連する他の1から2科を研修するのみでしたが、昭和51年度からは専門科に重点を置きながらも、広く各科を研修するローテイト方式を採用してきました。

これは平成16年度から実施された卒後臨床研修制度を先取りしていたものであったといえます。

平成16年5月からは新たな卒後臨床研修制度義務化に伴って、単独型臨床研修病院として初期研修医各学年10名を受け入れ、更に川崎市立井田病院に対する協力型病院として井田病院の臨床研修医（当院ローテイトは卒後2年目）を指導しています。

平成22年12月1日に卒後臨床研修評価機構の認定を受けました。以後、平成24年、平成30年に更新認定を受けています。

新制度実施後、多数の医学生から応募があるのは、当院がこれまで取り組んできた臨床研修制度が高く評価されたものと自負しつつも更に医療安全管理・倫理面も含めた教育内容を拡充し、優れた臨床医の育成を図りたいと考えています。

ア 臨床研修医年度別 採用者数

年 度	応 募 者	採 用	修 了	備 考
昭和44	5	3		3年制→2年制度へ移行
45	14	7	3	
46	19	4	2	
47	18	6	8	
48	17	8	4	
49	24	6	3	
50	39	10	7	
51	37	5	5	
52	26	8	5	
53	23	10	11	
54	42	10	11	
55	17	10		
56	12	3	9	
57	9	5	8	
58	4	3	2	
59	11	5	5	
60	11	1	11	
61	9	5	1	
62	6	2		
63	8	2	4	
平成元	12	8	2	
2	9	6	1	
3	9	7	6	
4	13	10	6	
5	12	7	5	
6	10	9	8	
7	11	11	6	
8	21	10	7	
9	13	6	8	
10	12	9	10	
11	16	9	4	
12	16	11	5	
13	14	10	8	
14	11	10	8	
15	8	7	7	
16	84	10	6	
17	126	9	4	
18	83	9	9	
19	103	10	9	
20	83	9	9	
21	62	10	9	
22	67	10	10	
23	79	10	10	
24	96	10	10	
25	77	10	10	
26	51	10	10	
27	73	9	10	
28	88	10	9	
29	74	10	10	
30	74	10	10	
令和元	53	10	10	
計	1811名	399名	335名	

イ 専攻医年度別 採用者数

年 度	応募者数	採 用	備 考
13	13	12	
14	8	8	
15	10	10	
16	13	10	
17	11	11	
18	13	12	
19	27	25	
20	44	36	
21	38	34	
22	32	29	
23	34	27	
24	38	34	
25	31	30	
26	40	40	
27	46	45	
28	38	37	
29	37	37	
30	39	39	
令和元	42	42	

ウ 臨床研修医出身校別採用者数

国・公立大学

私立大学等

(平成31年4月1日現在)

出身校	年度 昭和42～ 平成26	27	28	29	30	31	計	出身校	年度 昭和42～ 平成26	27	28	29	30	31	計
北海道大	5						5	岩手医大	2						2
札幌医科大	1						1	自治医大	7						7
旭川医科大	1						1	埼玉医大	3						3
弘前医科大	5						5	日本医大	4						4
秋田医科大	7						7	日本医大	3						3
山形医科大	2					1	3	順天堂大	3						3
東北医大	3			1			4	慶應義塾大	86	3	5	4	8	5	111
福島医大	1						1	東京医科大	8						8
群馬医大	3	1					4	東京女子医大	8						8
筑波医大	2	1	1	1		1	6	慈恵医科大	28					1	29
東京医大	14			1			15	昭和医大	7	1				1	9
東京歯科大	3		1	1			5	東邦医大	15				1		16
横浜市立大	4				1		5	杏林医大	7						7
横山梨大	3						3	聖マリアンナ大	14			1			15
新潟潟大	1						1	北里医大	6	1					7
新潟山井大	4						4	東京医大	13						13
富山井大	2						2	帝京医大	1			1			2
福井松大	2		1				3	藤田医科大	10						10
松本医科大	4						4	愛知医科大	2						2
岐阜大	2						2	関西医科大	3						3
名古屋大	2						2	大阪医科大	2						2
名古屋大	3						3	兵庫医科大	1						1
奈良大	3						3	川崎医科大	2						2
京都府立大	1						1	産業医科大	5						5
神戸大	1						1	久留米大	2						2
岡山大	3						3	金沢医大	2						2
岡山根大	2						2	九州大	0					1	1
山根口大	2						2	その他(海外等)	2						2
山徳川大	2						2								0
香川大	1						1								0
長崎大	4		1				5								0
佐賀大	1						1								0
熊本大	2						2								0
鹿児島大	1						1								0
琉球大	2						2								0
高知大	1						1								0
滋賀医科大	0	2					2								0
計	101	4	5	4	1	2	117	計	246	5	5	6	9	8	279

エ 初期臨床研修修了者（平成30年度生）

修了年月日	氏名	出身校
令和2年3月31日	石原 啓成	慶應義塾大学
令和2年3月31日	児玉 充輝	慶應義塾大学
令和2年3月31日	佐久間 萌子	慶應義塾大学
令和2年3月31日	島 優作	慶應義塾大学
令和2年3月31日	曾賀 野純	慶應義塾大学
令和2年3月31日	園田 啓太	慶應義塾大学
令和2年3月31日	東川 康嗣	慶應義塾大学
令和2年3月31日	西元 ゆい	東邦大学
令和2年3月31日	松井 友哉	慶應義塾大学
令和2年3月31日	山根 聖弘	東京医科歯科大学

<2年以上研修を受けた専攻医>（※ 1年6か月以上2年未満の者を含む。）

・相馬 裕樹 ・谷口 文則 ・松居 祐樹 ・北嶋 宏輝 ・木村 萌美 ・鳥海 聡
 ・井上 聡 ・藤網 隆太郎

<1年間研修を受けた専攻医>（※ 6か月以上1年未満及び1年6か月未満の者を含む。）

岡田 真彦 伊藤 守 遠藤 洵之介 海江田 祐太 永江 真也 古橋 和謙
 増田 恭子 渡邊 理 前田 悠太郎 丹羽 隆文 高原 健人 橋本 善太
 鑑 涼介 諸川 明洋 古山 和佳奈 岩澤 智裕 西村 宙悟 清河 駿樹
 桑名 温子 五島 可奈子 河手 森彦 花岡 美徳 橋 茉莉花

オ 在籍する臨床研修医（平成31年4月1日現在）

2年次生（平成31年度生）		1年次生（令和2年度生）	
氏名	出身校	氏名	出身校
安藤 拓	慶應義塾大学	浅田 健吾	東京慈恵会医科大学
渦川 真優子	昭和大学	内川 理紗	東京慈恵会医科大学
小澤 拓矢	筑波大学	笠原 美沙	慶應義塾大学
神川 慶彦	慶應義塾大学	嶋貫 佳奈子	福島県立医科大学
岸本 ゆりえ	慶應義塾大学	鈴木 麻耶	東京女子医科大学
北村 佳奈	東京慈恵会医科大学	田中 祥子	慶應義塾大学
洪 美希	慶應義塾大学	垂石 七星	東京慈恵会医科大学
島田 優希	山形大学	出澤 舞乙	慶應義塾大学
時枝 啓太	九州大学	原田 優香	慶應義塾大学
二角 昂之	慶應義塾大学	古川 貴子	慶應義塾大学

カ 在籍する専攻医(令和2年6月1日現在)

4年次生以上			3年次生		
志望科	氏名	出身校	志望科	氏名	出身校
内科	石野 すみれ	筑波大学	内科	中村 彰良	慶應義塾大学
内科	永江 真也	神戸大学	内科	今井 悠気	慶應義塾大学
内科	伊藤 守	慶應義塾大学	内科	滝澤 亜矢	香川大学
内科	遠藤 洵之介	慶應義塾大学	内科	徳安 大輝	慶應義塾大学
内科	杉山 耀一	名古屋市立大学	内科	大津 陽	慶應義塾大学
内科	上園 志穂	東邦大学	内科	原田 修平	自治医科大学
内科	内山 竣介	日本医科大学	内科	船曳 隼大	東京医科大学
内科	長谷川 梨咲	埼玉医科大学	整形外科	石原 啓成	慶應義塾大学
外科	中川 雅	東京医科大学	脳神経外科	山本 晃生	慶應義塾大学
外科	萩原 克洋	千葉大学	小児科	君塚 優	慶應義塾大学
整形外科	加藤 修三	慶應義塾大学	婦人科	佐久間 萌子	慶應義塾大学
形成外科	宇野 嘉良子	慶應義塾大学	麻酔科	安達 薫	島根大学
精神科	西 晃	徳島大学	麻酔科	藤田 夏樹	秋田大学
精神科	織笠 裕行	旭川医科大学	救急科	天笠 愛子	東海大学
小児科	古山 和佳奈	島根大学	救急科	杉 真恵	東邦大学
小児科	山田 剛	慶應義塾大学			
小児科	小林 寛太朗	弘前大学			
小児科	吉川 遥菜	東京医科歯科大学			
皮膚科	卜部 雅之	山形大学			
泌尿器科	岩澤 智裕	慶應義塾大学			
泌尿器科	穴戸 偉海	北里大学			
婦人科	椎名 美季	東京女子医科大学			
耳鼻咽喉科	笠原 健	新潟大学			
リハビリテーション科	梶本 かさね	福岡大学			
放射線診断科	小川 遼	日本大学			
麻酔科	鶴澤 侑子	埼玉医科大学			
麻酔科	鈴木 千裕	東京医科歯科大学			
麻酔科	松沢 真奈	慶應義塾大学			
歯科口腔外科	長嶺 宏樹	東北大学			
救急科	佐々木 洋介	Semmelweis University			
救急科	藤田 野々香	福井大学			
救急科	土屋 賢吾	杏林大学			
救急科	島谷 直孝	岡山大学			

2 初期臨床研修医プログラム

(1) 名 称

川崎市立川崎病院初期臨床研修プログラム

(2) 目的と特徴

当院の研修医制度は、昭和42年4月に発足し、その後教育指導部を設置して既に40年以上が経ちますが、この間多数の研修修了者を送り出してきました。その後、幾度かの変遷を経て、現在では、毎年4月1日に研修開始して、2年後の3月31日に修了する方式を採っています。

ローテイトに当たっては、研修医と十分話し合いを持ち、それぞれに最も適した個別カリキュラムを組んで、限られた期間に充実した研修成果が上がるよう努めています。

また、各科の基礎的診断治療のための技能の習得のみならず、“病気を診るのではなく、悩める病人を診る”という、診療態度の修得やプライマリ・ケアを重視した研修を行っています。

医学の進歩に伴い、医療の専門分化・高度化により各臓器疾患の専門医は増加し、これまで治療困難とされた疾患が克服できるようになりました。それに反して患者を全人的に診療できる医師（General Physician）は少なく、“病気のみを診るのではなく悩める病人を診る”ことのできるGeneral Physicianの養成が社会的に求められています。また、本当の意味での専門医はGeneral Physicianとしての素養を身につけた上で、自分の専門分野を追及していくべきと考えます。

そこで当院では、“臓器別専門医である前に、患者全体を診て適切な診療を行う”を基本方針の基に、臨床医としての基礎的臨床能力を養成することを主たる目標にしました。

(3) 指導者と研修施設

ア 指導者と研修プログラム責任者

研修管理委員会委員長 小宮 浩一郎

イ 研修施設

診療各科及び検査科の施設、研究室、会議室

ウ 指導医リスト〔医師免許取得後7年以上〕（令和2年6月1日現在）

内科	大曾根 康夫	野崎 博之	有馬 功一郎	佐山 宏一
	末吉 浩一郎	坂本 光男	西澤 健也	玉井 博修
	安藤 孝	伯野 大彦	高木 英恵	津村 和大
	李 慧崇	田口 博章	滝口 俊一	有泉 健
	定平 健	大森 奈緒	高橋 賢至	田中 希宇人
	井上 健太郎	深江 智明	細田 智弘	扇野 圭子
	北薊 久雄	長谷川 哲雄	布施 彰久	山根 剛
	鈴木 健	相馬 裕樹	花田 亮太	
精神科	齋藤 寿昭	鹿島 美納子	三浦 孝政	久保 馨彦
小児科	土橋 隆俊	有安 大典	檜林 敦	松尾 基規
	外山 陽子	吉田 祐	瑞慶覧 宏彰	案納 あつこ

新生児内科	森 和広 宮武 瑛里	古川 律子	梶原 久美子	坂井 みのり
外科	金井 歳雄 和多田 晋 雨宮 隆介	市東 昌也 三原 規奨 山高 謙	相浦 浩一 菊池 勇次	萬谷 京子 近藤 崇之
呼吸器外科	澤藤 誠	井澤 菜緒子	奥井 将之	
脳神経外科	今西 智之 植田 良	小野塚 聡	片山 真	三島 牧
整形外科	上田 誠司 山口 健治 谷 英明	中道 憲明 西村 空也	小宮 浩一郎 寺坂 幸倫	西脇 正夫 美馬 雄一郎
形成外科	北畑 伶奈			
心臓血管外科	南雲 正士	井上 慎也		
皮膚科	西本 周平	小林 研太		
泌尿器科	原 智	前田 高宏	勝井 政博	萩原 広一郎
産婦人科	中田 さくら 大谷 利光	染谷 健一 石垣 順子	金 善恵 大橋 千恵	鈴木 毅
眼科	園部 秀樹	小澤 紘子	藤岡 俊平	伊藤 賀一
耳鼻咽喉科	重富 征爾	猪狩 雄一	西山 崇経	松居 祐樹
放射線診断科	倉田 忠宜	長谷川 市郎	佐藤 宏朗	緒方 雄史
放射線治療科	栗林 徹	公田 龍一		
麻酔科	森田 慶久 出野 智史 梶谷 美砂	逢坂 佳宗 平畑 枝里子	菅 規久子 瀬上 和貴	細井 卓司 北嶋 宏輝
救急科	田熊 清継 三吉 貴大 白川 和宏	齋藤 豊 石田 径子 金子 翔太郎	進藤 健 鳥海 聡	金尾 邦生 土屋 光正
リハビリテーション科	阿部 玲音			
歯科口腔外科	鬼澤 勝弘	安居 孝純		
病理診断科	杉浦 仁	折笠 英紀		

エ 専門医（認定医）教育病院等学会の指定状況

日本内科学会認定医制度教育病院	日本リウマチ学会認定教育施設
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設	日本感染症学会認定研修施設
日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設	日本呼吸器学会認定施設

日本小児科学会小児科専門医研修施設	日本小児科学会小児科専門医研修支援施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設	日本認知症学会認定教育施設
日本神経学会専門医制度准教育施設	日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本胆道学会認定指導施設
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム 連携施設	日本脳卒中学会専門医認定研修教育病院
日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター	日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練基 幹施設
胸部外科教育施設協議会修練施設	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定 関連施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施 設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本手外科学会認定研修施設	日本形成外科学会認定教育関連施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本核医学会専門医教育病院
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練 機関	日本リハビリテーション医学会認定研修施設
日本 IVR 学会専門医修練施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本口腔外科学会関連研修施設	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本病理学会研修認定施設 B	日本心血管インターベンション治療学会認定 研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本脈管学会認定研修指定施設	日本食道学会全国登録認定施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設	日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラ フィ検診施設
日本頭頸部外科学会準認定施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本消化管学会胃腸科指導施設	日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹 研修施設
日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定認定 施設	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定 修練施設	日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医研修 施設
神奈川県医師会母体保護法指定医師指定研修 機関	日本超音波医学会超音波専門医研修施設
日本肝臓学会認定施設	日本糖尿病学会教育関連施設
日本透析医学会教育関連施設	日本高血圧学会認定研修施設

オ 指導体制

各科とも原則としてマンツーマン方式を取れ入れています。

(4) プログラム委員会

本院には、研修管理委員会が設置されており、その委員がプログラム委員を兼務します。

(5) プログラム管理体制

ア 研修管理委員会の組織・機能

(ア) 委員長：小宮 浩一郎 研修管理委員会委員長

(イ) 構成：委員は各研修カリキュラムの責任者、院長、事務局長、副院長、庶務課長、研修協力施設の研修実施責任者（指導医等）、外部委員（医師等）

(ウ) 業 務

a 研修プログラムの全体的な調整・管理

（研修プログラム作成方針の決定や、各研修カリキュラム間の相互調整など）

b 研修医の全体的な管理

（研修医の募集、他施設への出向、研修医の処遇、研修医の健康管理）

c 研修医の研修状況の評価

（研修目標の達成状況の評価、臨床研修修了の評価）

d 採用時における研修希望者の評価

e 指導医の評価と記録

f 研修後の進路について、相談等の支援を行う

g 院内カンファレンス、研修資料と教育機材の管理、指導医研修

イ 研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法

研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法は別途定める要綱によります。研修医は、毎年公募により採用されます。

ウ 研修プログラムの自己評価と改善体制

研修管理委員会では、研修医の研修成果や研修医・指導医の意見を踏まえ、常に研修プログラム自体の評価を行い、修正可能な点は速やかに修正します。また、大きなシステム上の問題は、関係各所と協議の上、適宜改善を行います。

エ 研修医からのフィードバック

研修医は、研修実行委員と定期的に面接を行い、研修プログラムや指導医に対する意見を述べるができます。臨床研修委員会は、できるだけ研修医の要望を実現できるように配慮します。

オ 研修の継続が困難な研修医に対する処置

身体的・社会的・経済的理由などにより、研修継続が困難な状態に陥った場合は、臨床研修委員会及び研修責任者は、研修医個人の処遇を勘案し、適切な対応を行うものとします。

(6) 卒後臨床研修・ローテイトについて

ア 期間割り研修医予定配置

1年次の最初の月（4月）は、全員が救急科で研修を行います。厚生労働省の定める内科6箇月、救急科3箇月、地域医療1箇月を必修科目として計10箇月間研修します。選択必修は5科（外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科）の中から2科を選択し、選択科（内科、外科、

救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、形成外科、放射線科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、検査（病理）科、の中から選択）と合わせて計14箇月の研修を行います。

選択科目の研修期間は、プログラムの特性を配慮し、最低1箇月とします。

選択科目の研修に当たっては、研修医が各研修カリキュラムを選択し、積極的に研修に取り組み、充実した研修ができるように留意します。

(7) 研修医定員及び処遇

研 修 医 定 員	: 1年次10名、2年次10名
募 集 及 び 採 用 方 法	: 公募、小論文、集団面接及び集団討論にて選考、マッチングに参加
資 格	: 令和2年度に日本で有効な医師免許を取得見込みの者
処 遇	: 川崎市非常勤嘱託職員 地方公務員法（以下「地公法」という。）第30条及び第32条から第35条を、遵守する義務を負う。
待 遇	: 給与月額 302,889円 健康保険・厚生年金・雇用保険・労働災害補償あり レジデントハウス（単身者用）あり 病院個室なし、個人の机及びロッカー有り 定期健康診断年1回 医師賠償責任保険は病院として加入 学会及び研究会への参加は研修に支障のない範囲で可。ただし、公費負担なし。
勤 務 時 間	: 1週5日（月～金曜日） 月～金曜日：8時30分～17時まで 時間外勤務なし 研修以外の診療活動は認めない（地公法第38条の改正による） 当直は配属科により変わるが、内科の場合に平日当直2日、休日当直1日が目安である。
年 次 有 給 暇 等	: 1年目10日、2年目11日付与 夏期休暇5日（6月1日～10月31日までの間に取得）

(8) 研修修了認定基準

臨床研修医に関する要綱中、第10条の修了証書の授与に際しては、次の基準によるものとします。

ア 各研修医は、厚生労働省の指定した初期臨床研修到達目標の自己評価表に基づき、自己採点を行い、研修責任者に提出する。

イ 研修責任者は、研修管理委員会を開催し、ローテイトした科の指導責任者の採点によるレジデント評価表と研修医が採点した自己評価表を併せて審査し、その結果を院長に報告する。

ウ 院長は、報告に基づき研修が修了したと認定された研修医に対して、修了証書を授与する。

VII 業 績 目 録

科 別 年度 科目		科 別 業												
		内科・総合内科	精神科	小児科	新生児内科	外科	呼吸器外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科
学 位 取 得	27													
	28													
	29													
	30													
	1								1				1	
賞	27													
	28													
	29								2				1	1
	30													1
	1	1												
研 究 助 成 共 同 研 究	27		1					1					1	
	28							1						
	29							1						
	30							1						
	1							1						
書 籍	27						4		10					1
	28		1						3					
	29	1							1					
	30			1		1			1					
	1	3												
論 文	27	9		9	1	5	1		19	1		1	4	4
	28	19		16		2	1		18	1		2		2
	29	14		1					14		2	3	8	7
	30	12		5	1			3	22	2			5	15
	1	14		2		3	7	1	17		1		8	9
学 会 研 究 会	27	20	3	18	7	21	4	3	60	1	1	5	2	9
	28	17		13	4	17		2	51	3		4	2	10
	29	17		18	5	15	2	1	18	1		1	6	25
	30	39	6	8	4	15	8	1	34	2		3	13	32
	1	32	4	8	4		3	3	18			3	13	18
そ の 他	27			4	2	1			4		1		1	
	28		3			6		1	15				2	
	29		1	6	2	5		2	6	1			4	1
	30	2	1	4		2			6				4	
	24	1	5						3				3	

※ 「書籍」は「著書」と「書籍の章」の合算。「その他」には「講演会等」を含む。

績 統 計

眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 治 療 科	放 射 線 診 断 科	麻 酔 科	救 急 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	歯 科 口 腔 外 科	検 査 科	薬 剤 部	看 護 部	医 療 安 全 管 理 室	患 者 総 合 サ ポ ー ト セ ン タ ー	感 染 対 策 室	食 養 科	合 計
1				2			1								2 2 0 0 2
2			1				1		1	1 2 4 3 1					3 9 4 6 3
1 1 4	1 1 1		1				1 1 1 1 1								5 4 7 3 3
	1 1 1 1		1	5 1 1		1	3 1 1 1		1 1	2			1		16 23 9 3 8
3 1 3 2	3 4 7 8 11		2 3 2	4 4 8 7 6	11 3 5 6 19		9 2 2 3	6 3 3 4	3 1 4	3 5					97 79 86 100 117
3 1 6 2	21 23 22 27 22	2	5 7 6 5 7	8 6 15 5 7	36 21 15 23 20	5 1	6 3 2 3 1	6 3 6 1 1	8 4 5 1	9 10 9 13			1	1 1	256 201 196 241 166
1 1 5 1	5 1 3	1	8 10 10 9	9 1 7 7	5 14 1 8 2	3 18 17 19 8	17 3 2 1 2	12 9 8	7 25 30		25		10 6 4 5	7 121 66 3	101 101 121 66 86

1 当院における学位取得者

(1) 泌尿器科

荻原広一郎 医学博士 2020 年 3 月 23 日 Sulfasalazine could modulate the CD44v9-xCT system and enhance cisplatin-induced cytotoxic effects in metastatic bladder cancer Cancer Science 2019 110(4) 1431~1441

(2) 整形外科

美馬雄一郎 医学博士 2019 年 9 月 2 日 Potential involvement of semaphorin 3A in maintaining intervertebral disc tissue homeostasis. J Orthop Res 2019 37(4) 972~980

2 賞

(1) 内科・総合内科

加藤恭介・津村和大 第 23 回日本病態栄養学会年次学術集会 研究特別賞 2020 年 1 月

(2) 耳鼻咽喉科

松居祐樹 2019 年慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室若手論文賞 2019 年 11 月

(3) 看護部

田中君枝 川崎市病院協会優良職員表彰 2019 年 6 月

3 研究助成及び共同研究

(1) 耳鼻咽喉科

今西順久 文科省科学研究費 基盤研究 (C). 間葉上皮転換 (MET) と癌幹細胞特性喪失を同時誘導する頭頸部癌転移制御の研究 (19K09876)

(2) 脳神経外科

植田良 文部科学省科学研究費
悪性脳腫瘍新生血管を治療標的としたペプチドワクチン療法の有効性予測因子の解明

(3) 歯科口腔外科

安居孝純 平成 28 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 基盤研究 C) 高純度歯髄幹細胞の顎骨壊死治療への応用 2017 年~2019 年

4 書籍の章

(1) 内科

野崎博之. 中枢神経系の炎症性疾患. 脳神経外科一周術期管理のすべて. 第 5 版. 松谷雅生, 田村晃 藤巻高光, 森田明夫. 東京. メジカルビュー社, 2019. 554-565

津村和大. 療養指導の必要性. 糖尿病療養指導グリーンノート. 初版. 寺内康夫, 白川純, 東京. 中外医学社, 2019 年 9 月. 21-23

津村和大. 療養指導チーム. 糖尿病療養指導グリーンノート. 初版. 寺内康夫, 白川純, 東京. 中外医学社, 2019 年 9 月. 24-25

安藤孝. 【限られたリソースで使える臨床現場の技】もっと視点を広げよう! 人生の最終段階の決定

治療(0022-5207). 101 巻 12 号. 南山堂, 2019. P1468-1471

(2) 救急科

齋藤豊. §1 救急・症候 §1-23 下痢・脱水 私の治療 2019-20 年度版 猿田亨男, 北村惣一郎, 佐々木淳一. 東京, 日本医事新報社. 2019

(3) 乳腺外科

萬谷京子, 大木 慶子, 逢坂 佳宗. 【すぐに使える周術期管理マニュアル】術式別の術前・術中・術後管理 その他 乳房切除術. 臨床外科(0386-9857) 74 巻. 東京, 医学書院, 2019, P197-201

(4) 整形外科

西脇正夫. 髓内釘. 橈骨遠位端骨折を究める一診療の実践 A to Z. 安部幸雄. 東京, 南江堂, 2019 P88~94

西脇正夫. 手関節・手の診察 手関節・手の解剖とバイオメカニクス. 整形外科 日常診療のエッセンス 上肢. 池上博奏. 東京, メジカルビュー社, 2019, P44~53

西脇正夫. 手関節・手の診察 診察の実際. 整形外科 日常診療のエッセンス 上肢. 池上博奏. 東京, メジカルビュー社, 2019, P54~63

5 論文

(1) 内科

Hakuno D, Fukae T, Takahashi M, Takiguchi S, Li HC, Nishizawa K, Nozaki H, Sueyoshi K. Combinations of Cardiac and Non-cardiac Predictors for Prognoses in Patients with Acute Heart Failure. Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes. 2019 Oct 29. pii: qcz059. doi: 10.1093/ehjqcco/qcz059. 2019

Fukae T, Hakuno D. Extramedullary lesions to the pericardium and right atrium in refractory multiple myeloma Blood. 2019;134-1562

Ogawa T, Tanaka K, Ohgino K, Omori N, Betsuyaku T, Sayama K. Drug-induced pneumonitis following the administration of laninamivir octanoate: The first two reported cases. Journal of infection and chemotherapy. 2019;25(12);1043-1046

Hosoda T, Sakamoto M, Ohkusu K. Splenic infarction complicated with immune reconstitution inflammatory syndrome due to disseminated Mycobacterium genavense infection in a patient infected with human immunodeficiency virus. Journal of Infection and Chemotherapy. 2019; 25; 1060-1064

安藤 孝. 【限られたリソースで使える臨床現場の技】もっと視点を広げよう! 人生の最終段階の決定治療. 2019; 101; 1468-1471

津村 和大. 新・相談コーナー せんせい教えてください! なぜ糖尿病の治療は人それぞれで違うのですか?(2 型糖尿病歴 4 ヶ月、53 歳、女性). さかえ: 月刊糖尿病ライフ. 2019; 59; 46-47

花田 亮太, 井上 健太郎, 松原 祥平, 久武 祐太, 有泉 健, 高木 英恵, 玉井 博修, 菊池 勇次, 三原 規奨, 市東 昌也, 折笠 英紀, 杉浦 仁, 相浦 浩一. Bevacizumab 投与中に潰瘍形成を来した超低リスク十二指腸 GIST の 1 例. Progress of Digestive Endoscopy. 2019; 95; 65-67

Hosoda T, Sakamoto M. Pneumomediastinum Associated with HIV-positive Pneumocystis jirovecii Pneumonia Intern Med. 2019;58;3607-3608

Hosoda T, Uehara Y, Kasuga T, Naito T. An HIV-infected patient with acute retinal necrosis

as immune reconstitution inflammatory syndrome due to varicella-zoster virus AIDS, 2020 ; 34 ; 795-796

Hosoda T, Uehara Y, Naito T. An HIV-infected Patient with No Serious Adverse Events after Overdosing on Raltegravir Intern Med. 2020 ; 59 ; 285-287

Hosoda T, Sakamoto M, Shimizu H, Okabe N. SARS-CoV-2 enterocolitis with persisting to excrete the virus for approximately two weeks after recovering from diarrhea: A case report. 2020 ; 41 ; 753-754

Hosoda T, Sakamoto M, Shimizu H, Okabe N. SARS-CoV-2 enterocolitis with persisting to excrete the virus for approximately two weeks after recovering from diarrhea: A case report Infect Control Hosp Epidemiol. 2020 ; 41 ; 753-754

Kato H, Shimizu H, Shibue Y, Hosoda T, Iwabuchi K, Nagamine K, Saito H, Sawada R, Oishi T, Tsukiji J, Fujita H, Furuya R, Masuda M, Akasaka O, Ikeda Y, Sakamoto M, Sakai K, Uchiyama M, Watanabe H, Yamaguchi N, Higa R, Sasaki A, Tanaka K, Toyoda Y, Hamanaka S, Miyazawa N, Shimizu A, Fukase F, Iwai S, Komase Y, Kawasaki T, Nagata I, Nakayama Y, Takei T, Kimura K, Kunisaki, R, Kudo M, Takeuchi I, Nakajima H. Clinical course of 2019 novel coronavirus disease (COVID-19) in individuals present during the outbreak on the Diamond Princess cruise ship J Infect Chemother. 2020 ; 26 ; 865-869

Seki Y, Morimoto S, Saito F, Takano N, Kimura S, Yamashita K, Yoshida N, Bokuda K, Sasaki N, Yatabe M, Watanabe D, Yatabe J, Ando T, Amano K, Kawamata T, Ichihara. A ACTH-Dependent Cyclic Cushing Syndrome Triggered by Glucocorticoid Excess Through a Positive-Feedback Mechanism J Clin Endocrinol Metab. 2019 ; 104 ; 1788-1791

(2) 小児科

Yu Yoshida, Jun Maeda, Hiroyuki Fukushima, Natsuko Tokita, Hiroyuki Yamagishi & Mitsuaki Tokumura. Chronotropic incompetence to exercise in anorexia nervosa patients during the body-weight recovery phase as an index of insufficient treatment. Heart and Vessels. 2019 ; 36 ; 711-715

Daisuke Ariyasu, Emika Kubo, Daisuke Higa, Shinsuke Shibata, Michihiko Sugimoto, Kazunori Imaizumi, Tomonobu Hasegawa, and Kimi Araki. Decreased Activity of the Ghrhr and Gh Promoters Causes Dominantly Inherited GH Deficiency in Humanized GH1 Mouse Models. Endocrinology. 2019 ; 160 ; 2673-2691

(3) 外科

藤網 隆太郎, 和多田 晋. 感染性総腸骨動脈瘤切迫破裂に対し二期的に治療を行い救命しえた1例, 血管外科. 38 巻 1 号 Page167-168(2019. 11)

萬谷 京子, 大木 慶子, 逢坂 佳宗. 【すぐに使える周術期管理マニュアル】術式別の術前・術中・術後管理 その他 乳房切除術 臨床外科(0386-9857). 74 巻 11 号 Page197-201(2019. 10)

井上 正純, 大森 泰, 夏 錦言, 相浦 浩一, 杉浦 仁, 市東 昌也. 粘膜下腫瘍様の発育を呈し lymphoid stroma を伴った表在型食道癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)80 巻 5 号 Page865-872(2019. 05)

(4) 呼吸器外科

井澤菜緒子. 沖縄離島医療の経験. 川崎市医師会医学会誌. 2019 ; 36 ; 7-11

成毛聖夫, 杜雯林, 品川俊人, 渡辺真純. 超高齢者の肺嚢胞の経過観察中に認めた嚢胞壁発生扁平上皮癌の1例. 日本呼吸器外科学会誌. 2019 ; 33 ; 515-519

Oguri Y, Okui M, Yamamichi T, Asakawa A, Harada M, Horio H. The impact of pulmonary metastasectomy from gastric cancer. *Mol Clin Oncol*. 2019;11;401-404

Yamamichi T, Horio H, Asakawa A, Okui M, Harada M. Yamamichi T, Clinico-bacteriological analysis for video-assisted thoracoscopic biopsy of non-tuberculous mycobacteria. *J Thorac Dis*. 2019;11;2715-2721

Okui M, Horio H, Asakawa A, Yamamichi T, Harada M. The prognostic nutritional index in resected high-grade pulmonary neuroendocrine carcinoma. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*. 2020;68;43-48

Asakawa A, Horio H, Yamamichi T, Okui M, Harada M. Clinical features of HIV-infected patients with non-small-cell lung cancer after lung resection. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*. 2020;38;38-42

浅川文香, 堀尾裕俊, 森恵梨華, 山道堯, 奥井将之, 原田匡彦. 手術および endobronchial Watanabe spigot 挿入が功を奏したニューモシスチス肺炎後難治性気胸の1例. 胸部外科. 2019 ; 72 ; 481-483

(5) 脳神経外科

Tamura R, Fujioka M, Morimoto Y, Ohara K, Kosugi K, Oishi Y, Sato M, Ueda R, Fujiwara H, Noji S, Oishi N, Ogawa K, Kawakami Y, Ohira T, Yoshida K, Toda M. A VEGF receptor vaccine demonstrates preliminary efficacy in neurofibromatosis type 2. *Nature Commun*. 2019 ; 10(1) 5758

(6) 整形外科

西脇正夫, 岡崎真人, 田崎憲一, 谷野善彦, 清田康弘, 堀内行雄. 成人上腕骨内側顆骨折の治療経験. 日本肘関節学会雑誌. 2018 ; 25 ; 132-135

西脇正夫, 岡崎真人, 田崎憲一, 久島雄宇, 堀内行雄. 橈骨頭粉碎骨折を伴った肘関節 terrible triad injury の治療. 日本肘関節学会雑誌. 2019. 26 ; 90-94

西脇正夫, 【橈骨遠位端骨折 Update】 橈骨遠位端骨折に対する髄内釘固定術. 関節外科. 2019 ; 38 ; 809-815

西脇正夫, 【こどもの骨折治療 pitfall 攻略】 小児の手の骨折. *Monthly Book Orthopaedics*. 2020 ; 33 ; 123-130

Inaba N, Suzuki T, Iwamoto T, Matsumura N, Oki S, Nishiwaki M, Nakamura M, Matsumoto M, Sato K. Normal value and range of the humerus-elbow-wrist angle in a sample of healthy children with even distributions of age, sex, and laterality *J Pediatr Orthop B*. 2019 ; 28 ; 57-61

Gammon B, Lalone E, Nishiwaki M, Willing R, Johnson J, King GJW. The Effect of Dorsal Angulation on Distal Radioulnar Joint Arthrokinematics Measured Using Intercartilage Distance. *J Wrist Surg*. 2019 ; 8 ; 10-17

久島雄宇, 西脇 正夫, 堀内行雄. 上腕二頭筋遠位部腱部分断裂を生じた橈骨粗面骨軟骨腫の1例. 日本肘関節外科学会雑誌. 2019 ; 26 ; 247-250

清田 康弘, 西脇 正夫, 寺坂 幸倫, 稲葉 尚人, 別所 祐貴, 堀内 行雄. 橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の橈骨手根関節と手根中央関節の屈伸可動域の経時的変化. 日本手外科学会雑誌. 2019 ; 36 ; 411-414

藤田成人, 中道憲明.『広範囲鍵盤断裂に対する広背筋移行術 (Habermeier 法) の治療成績』. 臨床雑誌整形外科. 2018;69:798-800.

小宮浩一郎, 山口 健治, 畑 亮介, 澤近 真文. 同側 THA、大腿骨顆上骨折術後の metallosis に対し、simulation model と Orthopaedic Salvage System が有用であった RA の 1 例. 日本人工関節学会誌. 2018;48:635-636.

小宮浩一郎, 膝伸展機構損傷に対し、suture anchor (SwiveLock) を用いた knotless 縫合で 1 次修復を行った 2 例. JOSKAS. 2018;43 (2):512-513.

Hirai T, Yoshii T, Nagoshi N, Takeuchi K, Mori K, Ushio S, Iwanami A, Yamada T, Seki S, Tsuji T, Fujiyoshi K, Furukawa M, Nishimura S, Wada K, Furuya T, Matsuyama Y, Hasegawa T, Takeshita K, Kimura A, Abematsu M, Haro H, Ohba T, Watanabe M, Katoh H, Watanabe K, Ozawa H, Kanno H, Imagama S, Ando K, Fujibayashi S, Koda M, Yamazaki M, Matsumoto M, Nakamura M, Okawa A, Kawaguchi Y. Distribution of ossified spinal lesions in patients with severe ossification of the posterior longitudinal ligament and prediction of ossification at each segment based on the cervical OP index classification: a multicenter study (JOSL CT study). BMC Musculoskeletal Disorders. 2018;5:19(1).

Yoshii T, Hirai T, Iwanami A, Nagoshi N, Takeuchi K, Mori K, Yamada T, Seki S, Tsuji T, Fujiyoshi K, Furukawa M, Nishimura S, Wada K, Koda M, Furuya T, Matsuyama Y, Hasegawa T, Takeshita K, Kimura A, Abematsu M, Haro H, Ohba T, Watanabe M, Katoh H, Watanabe K, Ozawa H, Kanno H, Imagama S, Ando K, Fujibayashi S, Matsumoto M, Nakamura M, Yamazaki M, Okawa A, Kawaguchi Y. Co-existence of ossification of the nuchal ligament is associated with severity of ossification in the whole spine in patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament -A multi-center CT study. Journal of Orthopaedic Science. 2019;24(1) :35-41.

西脇正夫.【手のスポーツ外傷・障害】 疾患別治療・リハビリ・スポーツ復帰 TFCC 損傷. 臨床スポーツ医学. 2018;35:254-257.

Gammon B, Lalone E, Nishiwaki M, Willing R, Johnson J, King GJW. Arthrokinematics of the distal radioulnar joint measured using intercartilage distance in an in vitro model. J Hand Surg Am. 2018;43:283 e1-283 e9.

Bessho Y, Nakamura T, Nishiwaki M, Nagura T, Matsumoto M, Nakamura M, Sato K. Effect of decrease in radial inclination of distal radius fractures on distal radioulnar joint stability: a biomechanical study. J Hand Surg Eur Vol. 2018;43:967-973.

Padmore CE, Stoesser H, Nishiwaki M, Gammon B, Langohr GDG, Lalone EA, Johnson JA, King GJW. The Effect of Dorsally Angulated Distal Radius Deformities on Carpal Kinematics: An In Vitro Biomechanical Study. J Hand Surg Am. 2018;43:1036 e1-1036 e8.

Inaba N, Suzuki T, Iwamoto T, Matsumura N, Oki S, Nishiwaki M, Nakamura M, Matsumoto M, Sato K. Normal value and range of the humerus-elbow-wrist angle in a sample of healthy children with even distributions of age, sex, and laterality. J Pediatr Orthop B. 2019;28:57-61.

Gammon B, Lalone E, Nishiwaki M, Willing R, Johnson J, King GJW. The Effect of Dorsal Angulation on Distal Radioulnar Joint Arthrokinematics Measured Using Intercartilage Distance. J Wrist Surg. 2019;8:10-17.

久島雄宇, 西脇 正夫, 堀内行雄. 上腕二頭筋遠位部腱部分断裂を生じた橈骨粗面骨軟骨腫の1例. 日本肘関節外科学会雑誌. 2019 ; 26 ; 247-250

清田 康弘, 西脇 正夫, 寺坂 幸倫, 稲葉 尚人, 別所 祐貴, 堀内 行雄. 橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の橈骨手根関節と手根中央関節の屈伸可動域の経時的変化. 日本手外科学会雑誌. 2019 ; 36 ; 411-414

萩原 健, 鈴木 拓, 松村 昇, 西脇 正夫, 岩本 卓士, 佐藤 和毅. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後の抜釘による満足度の検討. 日本手外科学会雑誌. 2019 ; 36 ; 920-923

西村空也, 名越慈人, 平井高志, 吉井俊貴, 竹内一裕, 森幹士. 頸椎後縦靱帯骨化症患者における全脊椎CTを用いたびまん性特発性骨増殖症の評価. 整形外科. 2019年11月 ; 70 ; 1314-1317

Mima Y, Suzuki S, Fujii T, Morikawa T, Tamaki S, Takubo K, Takubo K, Shimoda M, Miyamoto T, Watanabe K, Matsumoto M, Nakamura M, Fujita N. Potential involvement of semaphorin 3A in maintaining intervertebral disc tissue homeostasis. J Orthop Res. 2019 ; 37(4) ; 972-980

小宮 浩一郎(川崎市立川崎病院 整形外科), 澤近 真文. 離断性骨軟骨炎(大腿骨外顆後方)に自家培養軟骨移植を行った1例の病理組織学的検討術後1年と2年の比較. JOSKAS(1884-8842), 2019 ; 44-2 ; 350-351

小宮 浩一郎(川崎市立川崎病院 整形外科), 澤近 真文, 中村 一喜, 透析患者におけるTKA周術期の問題点. 日本人工関節学会誌(1345-7608). 2019 ; 49 ; 603-604

中村 一喜(川崎市立川崎病院 整形外科), 小宮 浩一郎. 当初樹枝状脂肪腫が疑われ、後に大きなポリプ様腫瘍を形成した非定型的滑膜軟骨腫症の1例. JOSKAS(1884-8842). 2019 ; 45-1 ; 284-285

"Ninomiya K, Shiraishi T, Aoyama R, Nori S, Yamane J, Kitamura K, Suzuki S, Fujita N, Tabata T, Ueda S, Anazawa U. "Analysis of the impact of spinopelvic radiographic parameters on the severity of cervical spondylotic myelopathy. "Journal of orthopaedic science . 2020 Feb ; S0949-2658(20)30012-9.

"Ninomiya K, Shiraishi T, Aoyama R, Nori S, Yamane J, Kitamura K, Suzuki S, Fujita N, Tabata T, Ueda S, Anazawa U. "Analysis of the impact of spinopelvic radiographic parameters on the severity of cervical spondylotic myelopathy. "Journal of orthopaedic science. 2019 Nov ; 24(6) ; 985-990

"Okada E, Shiono Y, Nishida M, Mima Y, Funao H, Shimizu K, Kato M, Fukuda K, Fujita N, Yagi M, Nagoshi N, Tsuji O, Ishii K, Nakamura M, Matsumoto M, Watanabe K. "Spinal fractures in diffuse idiopathic skeletal hyperostosis: Advantages of percutaneous pedicle screw fixation. "Journal of orthopaedic surgery (Hong Kong). 2019 May-Aug ; 27(2) ; 2309499019843407

(7) 泌尿器科

"Matsumoto K, Niwa N, Hagiwara M, Kosaka T, Tanaka N, Takeda T, Morita S, Mizuno R, Shinojima T, Hara S, Asanuma H, Oya M. "Type of patients in whom biochemical recurrence after radical prostatectomy can be observed without salvage therapy. "World journal of urology. 2019(Epub) ; 38(2020) ; 1749-1756

"Shigeta K, Kikuchi E, Abe T, Hagiwara M, Ogiwara K, Anno T, Umeda K, Baba Y, Sanjo T, Shoji K, Mikami S, Mizuno R, Oya M. "A Novel Risk-based Approach Simulating Oncological Surveillance After Radical Nephroureterectomy in Patients with Upper Tract Urothelial Carcinoma. "European urology oncology. 2019 ; 5-Aug ; 30102-30106

Kaneko G, Katsui M, Orikasa H, Hattori S, Hara S. "Retroperitoneoscopic partial adrenalectomy for metachronous renal cell carcinoma metastasis to solitary adrenal gland." International cancer conference journal. 2019 ; Jul 23;9(1)

"Shigeta K, Kikuchi E, Abe T, Hagiwara M, Ogihara K, Anno T, Umeda K, Baba Y, Sanjo T, Shoji K, Mizuno R, Oya M." "Long-Term Oncologic Outcomes of Laparoscopic Versus Open Radical Nephroureterectomy for Patients with T3N0M0 Upper Tract Urothelial Carcinoma: A Multicenter Cohort Study with Adjustment by Propensity Score Matching." Annals of surgical oncology. 2019 ; Oct;26(11) ; 3774-3781

井澤 水葵, 服部 盛也, 小澤 佑, 勝井 政博, 前田 高宏, 杉浦 仁, 原 智. 難治性限局型尿道アミロイドーシスに対して局所療法に全身療法を併用し緩解を得た1例. 泌尿器外科. 2019 ; 32 巻 6号 ; 859-863

Kaneko G, Katsui M, Hattori S, Hara S. Laparoscopic management for a psoas abscess caused by migrated urolithiasis. IJU Case Reports. 2019 ; 2(5) ; 288-291

Ogihara K, Kikuchi E, Okazaki S, Hagiwara M, Takeda T, Matsumoto K, Kosaka T, Mikami S, Saya H, Oya M. Sulfasalazine could modulate the CD44v9-xCT system and enhance cisplatin-induced cytotoxic effects in metastatic bladder cancer. Cancer Science. 2019 ; 110(4) ; 1431-1441

勝井 政博, 服部 盛也, 西村 宙悟, 岩澤 智裕, 前田 高宏, 原 智. 前立腺体積 80mL 以上の前立腺肥大症に対する低出力機器による HoLEP の臨床的検討. 泌尿器外科. 2020 ; 33 巻 3 号 ; 271-275

(8) 産科・婦人科

樋口隆幸. 19歳時に腹腔鏡・子宮鏡手術によって診断に至った子宮腺筋症・子宮内膜ポリープに対してレボノルゲストレル放出子宮内システムが奏効した1例. 日本女性医学学会雑誌. 2020 ; 27 ; 328-330

田中邦生, 春日義史, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 林保良, 中田さくら. 筋腫分娩様に腔内に突出した巨大子宮頸部筋腫合併妊娠の1例. 関東連合産科婦人科学会誌. 2019 ; 56 ; 73-77

王洪欣, 春日義史, 吉村拓馬, 大橋千絵, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 林保良, 中田さくら. 再癒着に留意した子宮鏡下癒着剥離術施行後に良好な周産期経過をたどった重度アッシャーマン症候群の1例. 神奈川産科婦人科学会誌. 2019 ; 56 ; 29-32

松井友哉, 春日義史, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 腰背部痛を主訴に来院した結核性胸膜炎合併妊娠の1例. 神奈川産科婦人科学会誌. 2019 ; 56 ; 46-49

染谷健一, 竹田貴, 吉村拓馬, 王洪欣, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 林保良, 中田さくら. 腹腔鏡下子宮筋腫核出術中の内膜穿破時に摘出した内膜腫瘍から診断し得た子宮内膜異型増殖症の1例. 神奈川産科婦人科学会誌. 2019 ; 55 ; 159-163

眞木順子, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 子宮鏡手術を契機に Kaufmann 療法を中止したところ自然妊娠し生児を得た早発卵巣不全の1例. 神奈川産科婦人科学会誌. 2019 ; 55 ; 146-147

Kasuga Y, Shigemi D, Tamagawa M, Suzuki T, Kim SH, Higuchi T, Yasunaga H, Nakada S. Size for gestational age at birth according to offspring sex and gestational weight gain in underweight women. J Dev Orig Health Dis. 2019 ; 10 ; 536-541

Yoshimura T, Kasuga Y, Higuchi T, Lin BL. Intrauterine Protrusion of Metal Coils: A Rare

Complication of Uterine Artery Embolization J Minim Invasive Gynecol. 2019 ; 28 ; 1215-1216
Kasuga Y, Lin BL, Maki J, Wang H, Yoshimura T, Nagai Y, Nakada S. Twelve-year experience of office-setting removal of lost intrauterine devices in place for more than 10 years. Eur J Contracept Reprod Health Care. 2019 ; 24 ; 206-208

(9) 耳鼻咽喉科

Mikoshiba T, Ozawa H, Saito S, Ikari Y, Nakahara N, Ito F, Watanabe Y, Sekimizu M, Imanishi Y, Ogawa K. Usefulness of Hematological Inflammatory Markers in Predicting Severe Side-effects from Induction Chemotherapy in Head and Neck Cancer Patients. Anticancer Res. 2019 ; 39 ; 3059-3065

Sekimizu M, Ozawa H, Saito S, Ikari Y, Nakahara N, Nakamura S, Yoshihama K, Ito F, Watanabe Y, Imanishi Y, Kameyama K, Ogawa K. Cyclo-oxygenase-2 Expression Is Associated With Lymph Node Metastasis in Oropharyngeal Squamous Cell Carcinoma Under the New TNM Classification. Anticancer Res. 2019 ; 39 ; 5623-5630

Higuchi S, Kabeya Y, Matsushita K, Arai N, Tachibana K, Tanaka R, Kawachi R, Takei H, Suzuki Y, Kogure M, Imanishi Y, Moriyama K, Yorozu T, Saito K, Abe N, Sugiyama M, Kondo H, Yoshino H. Incidence and complications of perioperative atrial fibrillation after non-cardiac surgery for malignancy. PLoS One. 2019 ; 14 ; e0216239

Higuchi S, Kabeya Y, Matsushita K, Arai N, Tachibana K, Tanaka R, Kawachi R, Takei H, Suzuki Y, Kogure M, Imanishi Y, Moriyama K, Sugiyama M, Yorozu T, Saito K, Abe N, Kondo H, Yoshino H. Perioperative Atrial Fibrillation in Noncardiac Surgeries for Malignancies and One-Year Recurrence. Can J Cardiol. 2019 ; 35 ; 1449-1456

Hirai H, Tada Y, Nakaguro M, Kawakita D, Sato Y, Shimura T, Tsukahara K, Kano S, Ozawa H, Okami K, Sato Y, Fushimi C, Shimizu A, Okamoto I, Takase S, Okada T, Sato H, Imanishi Y, Otsuka K, Watanabe Y, Sakai A, Ebisumoto K, Togashi T, Ueki Y, Ota H, Saigusa N, Takahashi H, Ando M, Urano M, Hanazawa T, Nagao T. The clinicopathological significance of the adipophilin and fatty acid synthase expression in salivary duct carcinoma. Virchows Arch. 2020 ; Online ahead of print

Nakaguro M, Sato Y, Tada Y, Kawakita D, Hirai H, Urano M, Shimura T, Tsukahara K, Kano S, Ozawa H, Okami K, Sato Y, Fushimi C, Shimizu A, Takase S, Okada T, Sato H, Imanishi Y, Otsuka K, Watanabe Y, Sakai A, Ebisumoto K, Togashi T, Ueki Y, Ota H, Saigusa N, Takahashi H, Ando M, Hanazawa T, Nagao T. Prognostic Implication of Histopathologic Indicators in Salivary Duct Carcinoma: Proposal of a Novel Histologic Risk Stratification Model. Am J Surg Pathol. 2020 ; 44 ; 526-535

Watanabe Y, Imanishi Y, Ozawa H, Sakamoto K, Fujii R, Shigetomi S, Habu N, Otsuka K, Sato Y, Sekimizu M, Ito F, Ikari Y, Saito S, Kameyama K, Ogawa K. "Selective EP2 and Cox-2 inhibition suppresses cell migration by reversing epithelial-to-mesenchymal transition and Cox-2 overexpression and E-cadherin downregulation are implicated in neck metastasis of hypopharyngeal cancer". Am J Transl Res. 2020 ; 12 ; 1096-1113

渡部佳弘, 岡本康秀, 今西順久, 池真理, 遠藤理奈子, 竹林 亜貴子, 小澤宏之. 両側梨状陥凹同時多発癌に対する二期の経口切除. 頭頸部外科. 2019 ; 29 ; 215-222

今西順久. 甲状腺・副甲状腺—知りたいこと・知っておかねばならないこと 【臨床—腫瘍性疾患】
 甲状腺癌の分類・頻度・予後. JOHNS. 2019 ; 35 ; 691-693
 西山崇経, 新田清一, 鈴木大介, 坂本耕二, 齋藤 真, 野口 勝, 大石直樹, 小川 郁. 聴覚過敏症
 状の自覚的表現についての検討. Audiology Japan. 2019 ; 62 ; 235-239
 Nishiyama T, Oishi N, Kojima T, Kasuya K, Noguchi M, Ishikawa T, Hosoya M, Ogawa K. Validation
 and Multidimensional Analysis of the Japanese Penn Acoustic Neuroma Quality-Of-Life Scale.
 Laryngoscope. 2020 ; Online ahead of print

(10) 麻酔科

Yoshimune Osaka. "SLIME" on the probe cover provides better-quality ultrasound images
 without water-soluble gel. JA Clinical Report. 2019 ; 5-43
 逢坂佳宗. シェント造設術を超音波ガイド下腕神経叢ブロック腋窩法で管理した BMI 51.3 の超
 肥満患者の麻酔経験. 麻酔. 2019 ; 68-838
 Yoshimune Osaka. A laser mount probe holder facilitates fixation of the optimized ultrasound
 image and needle alignment in-plane to the ultrasound beam during ultrasound-guided
 peripheral nerve block. Journal of Anesthesia. 2019 ; 33 ; 620-622
 Taiji Okamoto. Dislodged cranial bone due to application of a MAYFIELD™ skull clamp in a
 patient with a previous history of craniotomy. JA Clinical Report. 2020 ; 6-11
 石渡博昭. 挿管後に患者顔面に発見した不明異物が喉頭鏡の破損片であった 1 症例. 麻酔. 2019 ;
 68- 982
 Aoki M, Osaka Y, Ando K, Morita Y. "Anesthesia Experience for Tonsillectomy in a Patient
 With Hypofibrinogenemia: A Case Report." A&A practice. 2019 ; 15 ; 259-260

(11) リハビリテーション科

阿部玲音. 【驚くほどカンタン・わかりやすい! はじめてのリハビリ病棟看護ノート】疾患と障害理
 解 廃用症候群. リハビリナース(1882-3335). 2019 ; 12 巻 3 号 ; 225-226

(12) 救急科

井上聡, 塩島裕樹, 金尾邦生, 齋藤豊, 田熊清継. ガス壊疽の 1 例. 日本救急医学協会関東地方会
 雑誌. 2020 ; 41 ; 290-293
 金尾邦生, 大川順子. 【こんなとき、どの指標? 救急現場の使える指標】循環・心不全に関連する
 指標. Emer Log. 2019 ; 32 ; 336-346
 Nakata H, Yamakawa K, Kabata D, Umemura Y, Ogura H, Gando S, Shintani A, Shiraishi A, Saitoh
 D, Fujishima S, Mayumi T, Kushimoto S, Abe T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Hifumi T, Otomo
 Y, Okamoto K, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara
 A, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S. Japanese Association for
 Acute Medicine (JAAM) Focused Outcomes Research in Emergency Care in Acute Respiratory
 Distress Syndrome, Sepsis and Trauma (FORECAST) Study Group. Identifying Septic Shock
 Populations Benefitting from Polymyxin B Hemoperfusion: A Prospective Cohort Study
 Incorporating a Restricted Cubic Spline Regression Model. Shock. 2020 ; E pub
 Kushimoto S, Abe T, Ogura H, Shiraishi A, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Hifumi T, Shiino
 Y, Nakada TA, Tarui T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi
 SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda

H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST group. Impact of blood glucose abnormalities on outcomes and disease severity in patients with severe sepsis: An analysis from a multicenter, prospective survey of severe sepsis. *PLoS One*. 2020 ; e0229919

Abe T, Suzuki T, Kushimoto S, Fujishima S, Sugiyama T, Iwagami M, Ogura H, Shiraishi A, Saitoh D, Mayumi T, Iriyama H, Komori A, Nakada TA, Shiino Y, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Takuma K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Gando S, JAAM FORECAST group. History of diabetes may delay antibiotic administration in patients with severe sepsis presenting to emergency departments. *Medicine (Baltimore)*. 2020 ; e19446

Komori A, Abe T, Kushimoto S, Ogura H, Shiraishi A, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Naito T, Hifumi T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST group. Characteristics and outcomes of bacteremia among ICU-admitted patients with severe sepsis. *Sci Rep*. 2020 ; 10 ; 2983

Iriyama H, Abe T, Kushimoto S, Fujishima S, Ogura H, Shiraishi A, Saitoh D, Mayumi T, Naito T, Komori A, Hifumi T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST group, Risk modifiers of acute respiratory distress syndrome in patients with non-pulmonary sepsis: a retrospective analysis of the FORECAST study. *J Intensive Care*. 2020 ; 8 ; 7

Abe T, Kushimoto S, Tokuda Y, Phillips GS, Rhodes A, Sugiyama T, Komori A, Iriyama H, Ogura H, Fujishima S, Shiraishi A, Saitoh D, Mayumi T, Naito T, Takuma K, Nakada TA, Shiino Y, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Gando S, JAAM FORECAST group. Implementation of earlier antibiotic administration in patients with severe sepsis and septic shock in Japan: a descriptive analysis of a prospective observational study. *Crit Care*. 2019 ; 23 ; 360

Yamakawa K, Gando S, Ogura H, Umemura Y, Kabata D, Shintani A, Shiraishi A, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Kushimoto S, Abe T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Japanese Association for Acute Medicine (JAAM) Focused Outcomes Research in Emergency Care in Acute Respiratory Distress Syndrome, Sepsis Trauma (FORECAST) Study Group. Identifying Sepsis Populations Benefitting from Anticoagulant Therapy: A Prospective Cohort Study Incorporating a Restricted Cubic Spline Regression Model. *Thromb Haemost*. 2019 ; 119 ; 1740 ; 1751

Fujishima S, Gando S, Saitoh D, Kushimoto S, Ogura H, Abe T, Shiraishi A, Mayumi T, Sasaki J, Kotani J, Takeyama N, Tsuruta R, Takuma K, Yamashita N, Shiraishi SI, Ikeda H, Shiino Y, Tarui T, Nakada TA, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Sakamoto Y, Hagiwara A, Masuno T, Ueyama M, Fujimi S, Yamakawa K, Umemura Y. Trends in sepsis care in Japan: comparison of

two sepsis cohort studies conducted by the Japanese Association for Acute Medicine. *Acute Med Surg.* 2019 ; 6 ; 425 ; 427

Umemura Y, Ogura H, Gando S, Shiraishi A, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Kushimoto S, Abe T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Yamakawa K, Japanese Association for Acute Medicine (JAAM) Focused Outcomes Research in Emergency Care in Acute Respiratory Distress Syndrome, Sepsis and Trauma (FORECAST) Study Group. Prognostic Accuracy of Quick SOFA is different according to the severity of illness in infectious patients *J Infect Chemother.* 2019 ; 25 ; 943 ; 949

Sakurai A, Kinoshita K, Maeda Y, Takuma K, SOS-KANTO 2012 Study Group. Confirmed cardiac output on emergency medical services arrival as confounding by indication: an observational study of prehospital airway management in patients with out-of-hospital cardiac arrest. *Emerg Med J.* 2019 ; 36 ; 410 ; 415

Abe T, Tokuda Y, Shiraishi A, Fujishima S, Mayumi T, Sugiyama T, Deshpande GA, Shiino Y, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Hagiwara A, Yamakawa K, Takeyama N, Gando S, JAAM SPICE Study Group. In-hospital mortality associated with the misdiagnosis or unidentified site of infection at admission. *Crit Care.* 2019 ; 23 ; 202

Komori A, Abe T, Kushimoto S, Takuma K, JAAM FORECAST group. Clinical features of patients with candidemia in sepsis. *J Gen Fam Med.* 2019 ; 20 ; 161 ; 163

Abe T, Ogura H, Kushimoto S, Shiraishi A, Sugiyama T, Deshpande GA, Uchida M, Nagata I, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Hifumi T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST group. Variations in infection sites and mortality rates among patients in intensive care units with severe sepsis and septic shock in Japan. *J Intensive Care.* 2019 ; 7 ; 28

Kushimoto S, Abe T, Ogura H, Shiraishi A, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Hifumi T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM Focused Outcomes Research on Emergency Care for Acute respiratory distress syndrome, Sepsis and Trauma (FORECAST) Group. Impact of Body Temperature Abnormalities on the Implementation of Sepsis Bundles and Outcomes in Patients With Severe Sepsis: A Retrospective Sub-Analysis of the Focused Outcome Research on Emergency Care for Acute Respiratory Distress Syndrome, Sepsis and Trauma Study. *Crit Care Med.* 2019 ; 47 ; 691 ; 699

Gando S, Shiraishi A, Yamakawa K, Ogura H, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Kushimoto S, Abe T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Japanese Association for Acute Medicine (JAAM)

Focused Outcomes Research in Emergency Care in Acute Respiratory Distress Syndrome, Sepsis and Trauma (FORECAST) Study Group. Role of disseminated intravascular coagulation in severe sepsis. *Thromb Res.* 2019 ; 178 ; 182 ; 188

Matsumura Y, Nakada TA, Abe T, Ogura H, Shiraishi A, Kushimoto S, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Shiino Y, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST Study Group. Nighttime and non-business days are not associated with increased risk of in-hospital mortality in patients with severe sepsis in intensive care units in Japan: The JAAM FORECAST study. *J Crit Care.* 2019 ; 52 ; 97 ; 102

田熊清継. 熱傷患者の死因となる感染症 最新の JSBI 熱傷入院患者レジストリーと熱傷診療ガイドライン. *感染症学雑誌.* 2020 ; 94 ; 214

(13) 検査科

井上正純, 大森泰, 夏錦言, 相浦浩一, 杉浦仁, 市東昌也. 粘膜下腫瘍様の発育を呈し lymphoid stroma を伴った表在型食道癌の 1 例. *日本臨床外科学会雑誌.* 2019 ; 80 ; 865-872

花田亮太, 井上健太郎, 松原祥平, 久武裕太, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 菊池勇次, 三原規奨, 市東昌也, 折笠英紀, 杉浦仁, 相浦浩一. Bevacizumab 投与中に潰瘍形成を来した超低リスク十二指腸 GIST の 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy.* 2019 ; 95 ; 65-67

井澤水葵, 服部盛也, 小澤佑, 勝井政博, 前田高宏, 杉浦仁, 原智. 難治性限局型尿道アミロイドーシスに対して局所療法に全身療法を併用し寛解を得た 1 例. *泌尿器外科.* 2019 ; 32 ; 859-863

6 学会・研究会

(1) 内科

相馬裕樹, 細田智弘, 野崎博之, 大曾根康夫, 坂本光男. *Klebsiella pneumoniae* 菌血症における String test と臨床像の関連について. 第 93 回日本感染症学会総会・学術講演会. 2019/04/05 名古屋

細田智弘, 野崎博之, 大曾根康夫, 坂本光男. 当院における菌血症を伴った尿路感染症に対する経験的治療薬の選択に関する検討. 第 93 回日本感染症学会総会・学術講演会 2019/04/06. 名古屋
津村和大. 糖尿病地域医療連携に求められる視点 ～失敗を学びに変える取り組み～. 第 53 回糖尿病学の進歩. 2019/5. 青森

津村和大. 糖尿病診療における 4P を考える「患者参画が変える糖尿病診療のみらい」. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2019/5. 仙台

津村和大. 日本医療研究開発機構 (AMED) が推進する糖尿病研究の展開. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2019/5. 仙台

西元ゆい, 細田智弘, 坂本光男, 西條裕介, 春成 学, 岡野 裕, 野崎博之, 大曾根康夫, 秋月哲史. 病理組織で診断に至った発症早期の壊死性筋膜炎の 1 例. 第 649 回日本内科学会関東地方会 2019/05/18. 東京

石原啓成, 安部恭嗣, 杉山耀一, 相馬裕樹, 布施彰久, 北菌久雄, 高木英恵, 野崎博之, 大曾根康夫, 秋月哲史. 歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症に伴う薬剤抵抗性てんかんに対してペランパネルが

奏功した1例. 第651回日本内科学会関東地方会. 2019/06/08. 東京

津村和大. 臨床研究入門. 第7回日本糖尿病療養指導学術集会. 2019/7. 福岡

佐久間萌子, 海江田祐太, 花田亮太, 松原祥平, 久武祐太, 井上健太郎, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 野崎博之. 選択的動脈内カルシウム注入試験 (SACI test) が局在診断に有効であったガストリノーマの一例. 第652回日本内科学会関東地方会. 2019/07/14. 東京

上園志穂, 高橋賢至, 深江智明, 滝口俊一, 伯野大彦, 西澤健也, 李慧崇, 末吉浩一郎, 高木英恵, 野崎博之. 強皮症・卵巣癌治療中に肺高血圧症を発症し, 肺静脈閉塞性疾患 (PVOD) が疑われた1例. 第653回日本内科学会関東地方会. 2019/09/14. 東京

細田智弘, 野崎博之, 大曾根康夫, 坂本光男. セフトリアキソンで経験的治療を行った菌血症合併尿路感染症の転帰に関する検討. 第68回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第66回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会. 2019/10/18. 仙台

加藤恭介, 坂本光男, 細田智弘, 野崎博之, 大曾根康夫. 梅毒が原因と考えられた二次性膜性腎症によるネフローゼ症候群の1例. 第68回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第66回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会. 2019/10/18. 仙台

杉山耀一, 田口博章, 洪 美希, 古橋和謙, 岩崎恵美, 安藤 孝, 有馬功一郎, 高木英恵, 野崎博之, 大曾根康夫. 若年女性に発症しメサングウム増殖性糸球体腎炎を合併した特発性後腹膜線維症の1例. 第654回日本内科学会関東地方会. 2019/10/05. 東京

岸本ゆりえ, 久武祐太, 海江田祐太, 花田亮太, 松原祥平, 井上健太郎, 有泉 健, 高木英恵, 玉井博修, 野崎博之. 上部消化管病変を合併した全大腸炎型潰瘍性大腸炎の1例. 第656回日本内科学会関東地方会. 2019/12/14. 東京

津村和大. 日本病態栄養学会におけるレシピコンテスト. 第23回日本病態栄養学会年次学術集会. 2020/1. 京都

加藤恭介, 津村和大. BMI 低値に関連する背景因子の分析. 第23回日本病態栄養学会年次学術集会. 2020/1. 京都

安部恭嗣, 古橋和謙, 相馬裕樹, 布施彰久, 北薮久雄, 高木英恵, 野崎博之, 大曾根康夫, 秋月哲史. Capsular Warning Syndrome に対して tPA 静注療法を施行した1例. 第657回日本内科学会関東地方会. 2020/02/08. 東京

加藤恭介, 津村和大, 海江田祐太, 高木英恵, 安藤 孝, 野崎博之, 有馬功一郎, 大曾根康夫, 秋月哲史. 妊娠を契機に発症したと考えられるバセドウ病の1例. 第658回日本内科学会関東地方会. 2020/03/14. 東京

石野すみれ, 細田智弘, 布施彰久, 坂本光男, 野崎博之, 大曾根康夫, 森川則文. 急性腎障害を伴う重症皮膚軟部組織感染の治療中に生じたセフェピム脳症の1例. 第658回日本内科学会関東地方会. 2020/03/14. 東京

(2)精神科

Taisuke Yatomi, Takahito Uchida, Hiroyoshi Takeuchi, Shin Kuramochi, Kimio Yoshimura, Masaru Mimura, Hiroyuki Uchida. Prescription patterns of psychotropic drugs in patients who are receiving steroidal anti-inflammatory drugs: analysis of Japanese national prescription data. ポスター発表. 32th European College of Neuropsychopharmacology, Copenhagen 2019年9月9日 Copenhagen, Denmark

彌富泰佑, 内田貴仁, 竹内啓善, 倉持信, 吉村公雄, 三村將, 内田裕之. Prescription patterns

of psychotropic drugs in patients who are receiving steroidal anti-inflammatory drugs: Analysis of Japanese national prescription data. ポスター発表. 第 29 回日本臨床精神神経学会. 2019 年 10 月 11 日. 博多

Taisuke Yatomi, Takahito Uchida, Hiroyoshi Takeuchi, Shin Kuramochi, Kimio Yoshimura, Masaru Mimura, Hiroyuki Uchida. Prescription patterns of psychotropic drugs in patients who are receiving steroidal anti-inflammatory drugs: Analysis of Japanese national prescription data. ポスター発表. 6th Asian College of Neuropsychopharmacology. 2019 年 10 月 12 日. 博多

橋本善太, 齋藤寿昭, 三村将. “修正型電気けいれん療法(m-ECT) の通電直後に心静止を認めた統合失調症の 1 例”. ポスター発表. “第 32 回日本総合病院精神医学会”. 2019 年 11 月 15 日. 倉敷

(3) 小児科

土橋隆俊. 体重増加不良を主訴に多職種が介入した 1 歳女児, 多職種連携の難しさを考える. 一般演題ポスター. 第 122 回日本小児科学会総会. 2019 年 4 月 19 日. 金沢市

土橋隆俊. 一般病院小児科病棟におけるシミュレーションを用いた医学教育について. 一般演題口演. 第 122 回日本小児科学会総会. 2019 年 4 月 21 日. 金沢市

外山陽子. 鶏卵による FPIES の多施設症例集積研究. ミニシンポジウム. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会. 2019 年 6 月 15 日. 千代田区

吉田祐. Fallot 四徴症心内修復術後患者に対する心肺運動負荷試験; 心臓 MRI 所見との関連. 一般演題口演. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019 年 6 月 27 日. 札幌市

有安大典. 常染色体優性遺伝性 GH1 遺伝子異常症モデルマウスを用いた発症機序の解明 2017 年度未来開拓研究助成 成果報告. 第 53 回日本小児内分泌学会学術集会. 2019 年 9 月 24 日. 京都市
瑞慶覧宏彰. 臍帯血および新生児期の血中 FGF23 が高値であった X 連鎖性低リン血症性くる病の 1 例. 一般演題. 第 53 回日本小児内分泌学会学術集会. 2019 年 9 月 26 日. 京都市

鑑涼介. 経鼻エアウェイ留置による保存的加療で吸気性喘鳴が改善した両側鼻腔狭窄の 1 例. 一般演題口演. 第 52 回日本小児呼吸器学会. 2019 年 11 月 15 日. 鹿児島市

菊岡泉. 5-aminosalicylic acid(5-ASA) 不耐症と診断した潰瘍性大腸炎の一例. 口演. 第 360 回日本小児科学会神奈川県地方会. 2020 年 2 月 15 日. 横浜市

(4) 新生児内科

古川律子, 宮武瑛里, 金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 森和広. 出生直前に診断し得た先天性血管腫の 1 例. 一般演題. 第 55 回日本周産期・新生児医学会. 2019 年 7 月. 松本

宮武瑛里, 金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 古川律子, 森和広. 未受診・飛び込み出産でクラミジア結膜炎を発症した抗体陰性母体産児の 1 例. 一般演題. 第 55 回日本周産期・新生児医学会. 2019 年 7 月. 松本

金子絵名, 宮武瑛里, 坂井みのり, 梶原久美子, 古川律子, 森和広. 保健師・児童相談所介入の上で退院したにもかかわらず abusive head trauma で保護となった 1 例. 一般演題. 第 64 回日本新生児成育医学会. 2019 年 11 月. 鹿児島

宮武瑛里, 金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 古川律子, 森和広. 免疫グロブリン未投与の Rh(D) 陰性母体から出生した第二子に生じた交換輸血 7 週間後の遅発性貧血. 一般演題. 第 64 回日本新生児成育医学会. 2019 年 11 月. 鹿児島

(5) 外科

萬谷京子, 石井誠一郎, 塩味慶子, 佐藤知美, 夏錦言. 立体模型を使った腋窩リンパ節郭清の継承～絶対にわかる Level I の解剖と郭清～ ワークショップ (指定). 第 27 回日本乳癌学会学術総会. 2019 年 7 月. 東京

大木慶子, 萬谷京子, 石井誠一郎, 佐藤知美, 夏錦言. 非浸潤性乳管癌を合併した乳腺腺筋上皮腫の 1 例. デジタルポスター. 第 27 回日本乳癌学会学術総会. 2019 年 7 月. 東京

(6) 呼吸器外科

井澤菜緒子, 成毛聖夫, 澤藤誠. 右肺中下葉切除後 2 年に生じた肺動脈断端血栓の 1 例. 一般演題. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. 令和 2 年 5 月. 大阪

成毛聖夫, 井澤菜緒子, 澤藤誠. すりガラス陰影を呈する肺癌における胸腔鏡下肺部分切除術後の断端再発に対する切除症例の検討. 一般演題. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会令和 2 年 5 月. 大阪

澤藤誠, 成毛聖夫, 井澤菜緒子, 金本徳之, 前田智早. 慢性肺アスペルギルス症に対し肺切除を施行した 3 例. 一般演題. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. 令和 2 年 5 月. 大阪

(7) 脳神経外科

植田良, 片山真, 今西智之, 戸田正博. 高齢者症候性前頭蓋底髄膜腫に対する低侵襲経鼻内視鏡手術の試み. 口演 (一般演題). 第 24 回日本脳腫瘍の外科学会. 2019. 9. 12. 浜松

植田良, 片山真, 今西智之, 戸田正博. 高齢者症候性前頭蓋底髄膜腫に対する機能温存を主目的とした経鼻内視鏡手術の試み. 口演 (一般演題). 第 26 回日本神経内視鏡学会. 2019. 11. 9. 横浜

植田良, 佐藤陽一郎, 戸田正博. 浸潤性プロラクチン産生下垂体腺腫の手術治療 ～特に薬物治療誘発性髄液漏の対策について～. 口演 (一般演題). 第 30 回日本間脳下垂体腫瘍学会. 2020. 2. 21 東京

(8) 整形外科

西脇正夫. 橈骨遠位端関節内骨折に対して多軸性ロッキングプレートは単軸性ロッキングプレートより有用か?. 教育研修講演. 第 62 回日本手外科学会学術集会. 2019 年 4 月. 札幌

西脇正夫, 久島雄宇, 清田康弘, 寺坂幸倫, 稲葉尚人, 別所祐貴, 上田誠司, 小柳貴裕, 堀内行雄. 単軸性/多軸性ロッキングプレートによる背側転位型橈骨遠位端関節内骨折の治療成績 前向き無作為化比較研究. ポスター. 第 92 回日本整形外科学会学術集会. 2019 年 5 月; 横浜

西脇正夫, 稲葉尚人, 別所祐貴. 単軸性/多軸性ロッキングプレートによる掌側転位型橈骨遠位端関節内骨折の治療成績 前向き無作為化比較研究. 口演. 第 45 回日本骨折治療学会学術集会. 2019 年 7 月; 福岡

西脇正夫. 橈骨遠位端骨折の現状と将来への展望. マスターズレクチャー. 第 12 回日本手関節外科ワークショップ. 2019 年 9 月 1 日; 奈良

西脇正夫. 掌側ロッキングプレート抜釘の現状. 口演. 第 4 回橈骨遠位端骨折を語る会. 2020 年 1 月; 東京

西脇正夫, 寺坂幸倫, 清田康弘, 久島雄宇, 稲葉尚人, 別所祐貴, 堀内行雄. 上腕骨外側顆骨折を伴った小児肘関節脱臼の治療経験. 口演. 第 32 回日本肘関節学会学術集会 2020 年 2 月; 奈良

萩原健, 鈴木拓, 松村昇, 西脇正夫, 増田英輔, 加藤知行, 藤田恵, 岩本卓士, 佐藤和毅. 橈骨遠位端骨折術後の抜釘術の自覚症状の検討. 口演. 第 62 回日本手外科学会学術集会. 2019 年 4 月;

札幌

中村俊康, 阿部耕治, 西脇正夫, 山部英行, 寺田信樹. TFCC 損傷の治療最前線. シンポジウム. 第 62 回日本手外科学会学術集会. 2019 年 4 月; 札幌

久島雄宇, 西脇正夫, 清田康弘, 寺坂幸倫, 稲葉尚人, 別所祐貴, 堀内行雄. 橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の橈骨舟状骨関節と橈骨月状骨関節の屈伸可動域の経時的変化. 口演. 第 62 回日本手外科学会学術集会. 2019 年 4 月; 札幌

丹羽隆文, 西脇正夫, 寺坂幸倫, 中道憲明, 堀内行雄. 関節リウマチ患者の 両側複数指屈筋腱皮下断裂の 1 例. 口演. 第 25 回神奈川上肢外科研究会. 2019 年 10 月; 横浜

西村空也, 高野盛登, 川端走野, 藤井武, 伊志嶺洋平, 藤田順之, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太, 鎌田修博. 腰椎後方椎体間固定術におけるブロック骨移植は術後の椎体間ケージの沈み込みを予防しうる. ポスター. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 2019 年 4 月; 横浜

西村空也, 美馬雄一郎, 西本和正, 折笠英紀, 上田誠司, 小柳貴裕. 腰椎に発生した骨未分化高悪性度多形肉腫の 1 例. ポスター. 第 27 回日本腰痛学会. 2019 年 9 月; 神戸

西村空也. LIF に合併した尿管損傷に対して術中に対処し得た 1 例. 口演. 第 6 回日本脊椎前方側方進入手術研究会. 2020 年 1 月; 東京

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次朗, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太. 思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術の Hidden blood loss の検討. 一般講演. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会. 2019 年 4 月 18 日; 横浜

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次朗, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太. 成人脊柱変形例に対する XLIF における Hidden blood loss の検討. 一般講演. 第 92 回日本整形外科学会学術総会. 2019 年 5 月 11 日; 横浜

Mima Y, Yagi M, Fujita N, Okada E, Suzuki S, Tsuji O, Nagoshi N, Nakamura M, Watanabe K. Hidden blood loss in extreme lateral interbody fusion for adult spinal deformity. ポスター. The 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine (ISSLS). 2019 年 6 月 3 日; 京都

Mima Y, Fujita N, Suzuki S, Fujii T, Watanabe K, Tsuji T, Horiuchi K, Miyamoto T, Matsumoto M, Nakamura M. Potential Involvement of Semaphorin 3A in Maintaining Tissue Homeostasis of Intervertebral Disc. ポスター. The 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine (ISSLS). 2019 年 6 月 3 日; 京都

今本多計臣, 美馬雄一郎, 山之内健人, 西村空也, 堀井千裕, 杉浦仁, 上田誠司, 小柳貴裕. 胃癌術後 9 年で発症し急激な転帰をたどった播種性骨髄癌症の 1 例. 一般講演. 第 168 回神奈川整形災害外科研究会. 2020 年 2 月 15 日; 横浜

(9) 皮膚科

渡辺絵美子, 田口博章, 杉浦仁, 陳科榮, 宮川俊一. 大腿に分枝状皮斑と潰瘍を生じた全身性エリテマトーデス合併抗リン脂質抗体症候群 (APS) の 1 例. 一般演題. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2019 年 9 月; 高知

渡辺絵美子, 倉地祐之眞, 石垣 星, 武井裕史, 扇野圭子, 森田美佳子, 宮川俊一. 経過中に間質性肺炎を発症した角層下膿疱症の 1 例. 一般演題. 第 118 回日本皮膚科学会総会. 2019 年 6 月; 名古屋

ト部雅之, 渡辺絵美子, 山之内健人, 寺坂幸倫, 西脇正夫, 和多田晋, 宮川俊一. 手指に生じた壊死性軟部組織感染症の1例. 一般演題. 第889回日本皮膚科学会東京地方会. 2020年2月; 東京

(10) 泌尿器科

勝井 政博, 小澤 佑, 木下 水葵, 服部 盛也, 前田 高宏, 原 智. 前立腺体積80ml以上の前立腺肥大症に対する、低出力機器によるHoLEPの初期治療経験. ポスター. 第107回日本泌尿器科学会総会. 2019年4月; 名古屋

木下 水葵, 服部 盛也, 小澤 佑, 勝井 政博, 前田 高宏, 原 智. 当院における骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するRa223の使用経験. ポスター. 第107回日本泌尿器科学会総会. 2019年4月; 名古屋

荻原広一郎, 菊地栄次, 岡部尚志, 服部盛也, 山下亮, 吉峰俊輔, 城武卓, 松本一宏, 水野隆一, 原智, 小山政史, 庭川要, 大家基嗣. 化学療法抵抗性尿路上皮癌に対するペムブロリズマブ治療の予後予測マーカーの探索研究. ポスター. 第107回日本泌尿器科学会総会. 2019年4月; 名古屋

西村 宙悟, 前田 高宏, 岩澤 智裕, 勝井 政博, 服部 盛也, 和多田 晋, 杉浦 仁, 原 智. 頻尿・残尿感を主訴に来院し準緊急的手術となった一例. 口演. 第96回神奈川県泌尿器科医会. 2019年6月; 川崎

岩澤智裕, 服部盛也, 西村宙悟, 勝井政博, 前田高宏, 倉田忠宜, 杉浦仁, 原智. de novo 前立腺小細胞癌の1例. 口演. 第60回日本泌尿器科学会神奈川地方会. 2019年9月; 横浜

荻原広一郎, 菊地栄次, 岡部尚志, 服部盛也, 山下亮, 吉峰俊輔, 城武卓, 松本一宏, 水野隆一, 原智, 小山政史, 庭川要, 大家基嗣. 尿路上皮癌に対するペムブロリズマブの治療効果と好中球リンパ球比の関連. ポスター. 第57回日本癌治療学会学術集会. 2019年10月; 福岡

岩澤 智裕, 勝井 政博, 西村 宙悟, 服部 盛也, 前田 高宏, 小林 裕章, 宮崎 保匡, 石田 勝, 小杉 道男, 原 智. 川崎市立川崎病院および済生会横浜市東部病院における精巣腫瘍症例の後方視的検討. 口演. 第71回西日本泌尿器科学会総会. 2019年11月; 島根

勝井政博, 西村宙悟, 岩澤智裕, 服部盛也, 前田高宏, 原智. PNLのトラクト出血に対するレゼクトスコープとオーバル型電極を用いた止血術の有効性. ビデオ. 第33回日本泌尿器内視鏡学会. 2019年11月; 京都

服部盛也, 西村宙悟, 岩澤智裕, 勝井政博, 金子剛, 前田高宏, 武田利和, 原智. 当院における腹腔鏡下腎尿管全摘除術・膀胱部分切除術の周術期成績と工夫. ポスター. 第33回日本泌尿器内視鏡学会. 2019年11月; 京都

金子剛, 服部盛也, 原智, 城武卓, 金尾健人, 小山政史. 高齢者に対する腹腔鏡下膀胱全摘除術の経験. 口演. 第33回日本泌尿器内視鏡学会. 2019年11月; 京都

金子剛, 勝井政博, 服部盛也, 原智, 小山政史. 感染腎に対するLESS, RPSによる腹腔鏡下腎摘除術の経験. 口演. 第33回日本泌尿器内視鏡学会. 2019年11月; 京都

Koichiro Ogihara, Eiji Kikuchi, Takashi Okabe, Seiya Hattori, Ryo Yamashita, Syunsuke Yoshimine, Suguru Shirotake, Kazuhiro Matsumoto, Ryuichi Mizuno, Satoshi Hara, Masafumi Oyama, Takeshi Masuda, Masashi Niwakawa, and Mototsugu Oya. Pretreatment neutrophil-to-lymphocyte ratio is a novel biomarker for predicting worse clinical outcome in chemo-resistant urothelial carcinoma patients treated with pembrolizumab Moderated Poster. The 114th American Urological Association Annual Meeting. 2019年5月; シカゴ

Koichiro Ogihara, Eiji Kikuchi, Takashi Okabe, Seiya Hattori, Ryo Yamashita, Syunsuke

Yoshimine, Suguru Shirotake, Kazuhiro Matsumoto, Ryuichi Mizuno, Satoshi Hara, Masafumi Oyama, Takeshi Masuda, Masashi Niwakawa, and Mototsugu Oya. Pretreatment absolute monocyte count is a novel biomarker for predicting worse clinical outcome in chemo-resistant urothelial carcinoma patients treated with pembrolizumab. 口演. The 17th Urological Association of Asia Congress. 2019 年 8 月 ; クアラルンプール

Koichiro Ogihara, Eiji Kikuchi, Takashi Okabe, Seiya Hattori, Ryo Yamashita, Syunsuke Yoshimine, Suguru Shirotake, Kazuhiro Matsumoto, Ryuichi Mizuno, Satoshi Hara, Masafumi Oyama, Takeshi Masuda, Masashi Niwakawa, and Mototsugu Oya. Neutrophil-to-lymphocyte ratio is a useful biomarker for predicting worse clinical outcome in chemo-resistant urothelial carcinoma patients treated with pembrolizumab. ポスター. ESMO Asia Congress 2019. 2019 年 11 月 ; シンガポール

(11) 産科・婦人科

桑名温子, 鈴木毅, 清河駿樹, 大橋千絵, 石垣順子, 金善恵, 樋口隆幸, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 妊娠 20 週の傍卵管嚢胞捻転に対して腹腔鏡下手術を行った 1 例. 第 427 回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 2019/9/21 ; 神奈川県・川崎市

桑名温子, 春日義史, 清河駿樹, 大橋千絵, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 特定妊婦制度利用の実態から精神疾患合併妊娠を考える. 第 138 回関東連合産科婦人科学会学術講演会. 2019/10/19 ; 群馬県・前橋市

樋口隆幸, 桑名温子, 清河駿樹, 大橋千絵, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 手術およびステロイド投与を行ったリンパ球性下垂体前葉炎合併妊娠の 1 症例. 第 427 回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 2019/9/21. 神奈川県・川崎市

佐久間萌子, 樋口隆幸, 桑名温子, 清河駿樹, 大橋千絵, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 妊娠 25 週に切迫早産症状で発症し急激な経過を辿った特発性子宮静脈瘤破裂出血の 1 例. 第 427 回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 2019/9/21 ; 神奈川県・川崎市

清河駿樹, 樋口隆幸, 桑名温子, 鈴木毅, 大橋千絵, 石垣順子, 金善恵, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 腹腔鏡下子宮筋腫核出後で陣痛発来前に発症した妊娠 35 週の切迫子宮破裂の 1 例. 第 426 回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 2019/6/29 ; 神奈川県・横浜市

中田さくら, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一. タモキシフェン投与中に生じた子宮内膜病変に対し子宮鏡にて管理した症例に関する検討. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2019/4/13 ; 愛知県・名古屋市

王洪欣, 春日義史, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 当院における特定妊婦の母体管理ならびに選定理由に関する後方視的検討. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2019/4/13 ; 愛知県・名古屋市

眞木順子, 春日義史, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 子宮鏡外来における長期挿入後抜去困難子宮内避妊器具に対する Lin 式ポリープ鉗子を用いた経腹超音波検査下抜去術. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2019/4/13 ; 愛知県・名古屋市

林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 眞木順子, 大橋千絵, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 子宮鏡下筋腫切除術における新しい筋腫鉗子の開発とその臨床応用. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2019/4/13 ; 愛知県・名古屋市

春日義史, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸. 若年妊婦における非妊時 BMI ならびに妊娠中体重増加量と small-for-gestational-age 発症に関する検討. 第 55 回日本周産期新生児学会学術集会.

2019/7/13; 長野県・松本市

春日義史, 重見大介, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 康永秀生, 中田さくら. 女兒は非妊時やせが, 男児は妊娠中体重増加不良が Small-for-gestational-age の発症リスク因子になる. 第 8 回 日本 DOHaD 学会. 2019/8/9; 東京都・中央区

春日義史, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. Lin 式ポリープ鉗子を用いた長期間留置子宮内避妊器具に対する外来経腹超音波検査下抜去術. 第 59 回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2019/9/13; 京都府・京都市

清河駿樹, 樋口隆幸, 桑名温子, 鈴木毅, 大橋千絵, 石垣順子, 金善恵, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 子宮底部横切開後の非薄化した帝王切開癒痕部を腹腔鏡下に修復した 1 例. 第 59 回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2019/9/13; 京都府・京都市

中田さくら, 林保良, 桑名温子, 清河駿樹, 大橋千絵, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一. 抜去困難な子宮内避妊具 FD-1 に対して Lin 式ポリープ鉗子を用いた抜去の有用性について. 第 59 回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2019/9/13; 京都府・京都市

中田さくら, 林保良. 平成時代鏡視下手術の総決算-子宮鏡下手術の進化. 特別講演. 第 59 回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2019/9/13; 京都府・京都市

Lin BH. Current hysteroscopic surgery. ワークショップ. "The 5th RGE Conference and workshop 2019 "Hands - on diagnostic and operative hysteroscopy achieving ODS" Rajavithi Gynecological Endoscopy Congress". 2019/5/22; タイ・バンコク

Lin BH. Complications in hysteroscopic surgery and management (in experiences of experts). ワークショップ. "The 5th RGE Conference and workshop 2019 "Hands - on diagnostic and operative hysteroscopy achieving ODS" Rajavithi Gynecological Endoscopy Congress" 2019/5/22; タイ・バンコク

Lin BH. How to prevent hysteroscopic complications. シンポジウム. The 2019 annual meeting of Obstetrics and Gynecology. 中国・内モンゴル・赤峰市

(12) 耳鼻咽喉科

佐藤陽一郎, 今西順久, 佐藤えみり, 松居祐樹, 井口聖名, 栗林徹, 舟越和人. 喉頭下咽頭癌における治療前 PET 検査を用いた予後予測能の検討. 一般口演. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 2019/5/9; 大阪市

井口聖名, 松居祐樹, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 島貫茉莉江, 今西順久, 中咽頭癌における原発巣 SUVmax の予後予測能の検討. 一般口演. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 2019/5/9; 大阪市

神崎晶, 細谷誠, 國弘幸伸, 関水真理子, 小澤宏之, 大石直樹, 藤岡正人, 佐々木俊一, 松永達雄, 今西順久, 羽生 昇, 小川郁, どのような臨床実習が医学部生の興味をひくのか?. 一般口演. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 2019/5/9; 大阪市

野口佳裕, 今西順久, 渡邊雄介, 金澤丈治, 岡野 光博, 国際医療福祉大学医学部における英語による器官別統合講義(感覚器系) シミュレーション教育について. 一般口演. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 2019/5/9; 大阪市

岡野 光博, 今西順久, 渡邊雄介, 金澤丈治, 野口佳裕, 国際医療福祉大学医学部における英語によ

る器官別統合講義(感覚器系) 授業について. 一般口演. 第120回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会
2019/5/9; 大阪市

西山崇経. 小児滲出性中耳炎における血液学的炎症指標を用いた予後関連因子の検討. 一般口演.
第120回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 2019/5/10; 大阪市

西山崇経. PANQOL 日本語版を用いた聴神経腫瘍患者のQoL評価. 一般口演. 第28回聴神経腫瘍研
究会. 2019/6/8; 東京都

松居祐樹, 佐藤陽一郎, 井口聖名, 佐藤えみり, 今西順久. 左側頸部から右肩部に達した盲管銃創
の一例. 一般口演. 第81回耳鼻咽喉科臨床学会. 2019/6/27; 名古屋市

佐藤陽一郎, 今西順久, 佐藤えみり, 松居祐樹, 井口聖名. 当院における喉頭癌症例の治療前 PET
評価について. 一般示説. 第81回耳鼻咽喉科臨床学会. 2019/6/27; 名古屋市

松居祐樹, 今西順久, 井口聖名, 佐藤えみり, 中原奈々, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 栗林徹, 舟越和
人. 下咽頭癌・喉頭声門上癌化学放射線療法施行症例における AGR (Albumin-Globulin Ratio) の予
後推定能の検討. 一般示説. 第43回日本頭頸部癌学会. 2019/6/13; 金沢市

井口聖名, 今西順久, 松居祐樹, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎, 島貫茉莉江, 重富征爾, 栗林徹, 舟越
和人. p16 陽性/陰性中咽頭癌における血液学的炎症および栄養指標の予後予測能の検討. 一般示説.
第43回日本頭頸部癌学会. 2019/6/13; 金沢市

渡部佳弘, 今西順久, 岡本康秀, 竹林亜貴子, 長谷部夏希, 佐藤陽一郎, 小澤宏之, 小川郁. 導入
化学療法後の経口的咽頭癌切除例における治療成績の臨床統計学的検討. 一般口演. 第43回日本
頭頸部癌学会. 2019/6/13; 金沢市

西山崇経. 21歳以上の軟骨伝導補聴器試聴者に関する検討. 一般口演. 第2回軟骨伝導聴覚研究会.
2019/7/5; 東京都

西山崇経. LATS1 deficiency cause congenital hearing loss associated with degeneration of mouse
cochlea. 一般口演. NEURO2019. 2019/7/25; 新潟

五島可奈子, 今西順久, 佐藤陽一郎, 西山崇経, 佐藤えみり, 松居祐樹, 井口聖名. 大血管を含む
患側組織大半の犠牲を余儀なくされた頸部壊死性筋膜炎症例. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈
川県地方部会第188回学術講演会. 2019/9/7; 横浜市

西山崇経. ネクストジェネレーションセッション10 補聴器および人工聴覚器の適応の考え方のコン
センサス: 軟骨伝導補聴器. 一般口演. 第29回耳科学会. 2019/10/10; 山形

松居祐樹, 今西順久, 井口聖名, 佐藤えみり, 中原奈々, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 栗林徹, 舟越和
人. 下咽頭癌・喉頭声門上癌化学放射線療法施行症例における AGR (Albumin-Globulin Ratio) の予
後推定能の検討. 一般口演. 令和元年慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室総会学術講演会.
2019/11/2; 東京都

西山崇経. 小児症例における軟骨伝導補聴器試聴者の臨床的検討. 一般口演. 第64回聴覚医学会.
2019/11/6; 大阪市

松居祐樹, 西山崇経, 五島可奈子, 佐藤陽一郎, 今西順久. 外側側頭骨切除後の熱源として DRESS
症候群が疑われた一例. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第189回学術講演会.
2019/12/7; 横浜市

五島可奈子, 松居祐樹, 西山崇経, 佐藤陽一郎, 今西順久. 下咽頭癌化学放射線療法後の咽頭後壁
壊死潰瘍に併発した化膿性脊椎炎症例の診療経験. 一般口演. 第76回慶浜耳鼻咽喉科研究会.
2019/12/10; 横浜市

平井秀明, 多田雄一郎, 中黒匡人, 川北大介, 佐藤由紀子, 志村智隆, 塚原清彰, 加納里志, 小澤宏之, 大上研二, 佐藤雄一郎, 伏見千宙, 清水頭, 高瀬総一郎, 岡田拓朗, 佐藤宏樹, 今西順久, 大塚邦憲, 渡部佳弘, 酒井昭博, 戎本浩史, 富樫孝文, 植木雄志, 太田久幸, 三枝奈津季, 高橋秀聡, 安藤瑞生, 浦野誠, 花澤豊行, 長尾俊孝. 唾液腺導管癌における脂質関連蛋白発現の臨床病理学的意義. 一般口演. 第 64 回日本唾液腺学会学術集会. 2019/12/14 ; 東京都

西山崇経. LATS1 deficiency cause congenital hearing loss associated with mouse cochlea abnormally. 一般口演. 43rd ARO MidWinter Meeting. 2020/1/25-29 ; California

(13) 放射線診断科

櫻井亮佑, 倉田忠宜, 長谷川市郎, 佐藤宏朗, 緒方雄史, 折笠英紀, 杉浦仁, 三上修治, 勝井政, 原智, 成松芳明. 腎粘液管状紡錘細胞癌の 1 例. 第 33 回腹部放射線学会. 2019 年 5 月 ; 山口
井上政則, 伊東伸剛, 鳥飼秀幸, 長谷学, 加山英夫, 倉田忠宜, 成松芳明, 屋代英樹, 御須学, 中塚誠之, 古後斗牙, 古川裕二, 陣崎雅弘. 先天性腎動静脈瘻 : 血管解剖に基づいた塞栓術. 第 48 回日本 IVR 学会総会. 2019 年 5 月 1 日 ; 福岡

塚田実郎, 井上政則, 鳥飼秀幸, 田村謙太郎, 伊東伸剛, 白神伸之, 長谷川市郎, 倉田忠宜, 中塚誠之, 成松芳明, 陣崎雅弘, 衣袋健司, 岡田真広. 肺動脈仮性動脈瘤に着目した重症喀血に対する塞栓術のアプローチ. 第 48 回日本 IVR 学会総会. 2019 年 5 月 1 日 ; 福岡

櫻井亮佑, 緒方雄史, 佐藤宏朗, 長谷川市郎, 倉田忠宜. 腎 AML に対する塞栓術についての検討 ~ 造影画像の検討を含む ~. 第 510 回東京アンギオ・IVR 会. 2019 年 12 月 ; 東京

小林裕介, 斎藤敦子, 宮崎恭助, 歌代怜奈, 小野欽也. PET-CT 検査担当スタッフの被ばく線量評価. 第 18 回神奈川放射線学術大会. 2020 年 2 月 9 日 ; 神奈川

小野欽也. 神奈川県放射線技師会による災害受援体制の構築. 第 18 回神奈川放射線学術大会. 2020 年 2 月 9 日 ; 神奈川

宮崎恭助. 診療放射線技師のキャリアップを考えよう~研究会・部会へ Go ~. 第 18 回神奈川放射線学術大会. 2020 年 2 月 9 日 ; 神奈川

(14) 麻酔科

逢坂佳宗. 下肢の超音波ガイド下ブロック. 第 7 回 POCUS 研究会. 令和 1 年 7 月 19 日 ; 東京

逢坂佳宗. 道具の工夫で超音波ガイド下ブロックはこんなに楽になる. ニードルガイドとプローブホルダー. 第 5 回日本区域麻酔学会. 2019 年 4 月 18 日 ; 高知

逢坂佳宗. ブース内セミナー. 傍脊椎神経ブロック. 第 66 回日本麻酔科学会. 2019/5/30 ; 神戸
北嶋宏輝. 人工股関節全置換術後 3 日目の心不全で初めて重症大動脈弁狭窄症が判明した一症例. ポスター発表. 関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会 (公益社団法人日本麻酔科学会 2019 年度支部学術集会). 2019 年 9 月 ; 東京

河手森彦. 未治療高血圧患者が全身麻酔後に一過性脳虚血発作を発症した 1 例. ポスター発. 関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会 (公益社団法人日本麻酔科学会 2019 年度支部学術集会). 2019 年 9 月 ; 東京

岡本泰治. 既往頭蓋骨術後患者が MAYFIELD*頭部固定装置により頭蓋骨陥没骨折を生じた一例 ポスター発表. 関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会 (公益社団法人日本麻酔科学会 2019 年度支部学術集会). 2019 年 9 月 ; 東京

鶴澤侑子. 側臥位への体位変換後のカフリークによる換気困難から気管拡張が発見された症例. ポスター発表. 関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会 (公益社団法人日本麻酔科学会 2019 年度

支部学術集会)。2019年9月；東京

(15) 救急科

松田潔, 望月徹, 菊池広子, 石丸直樹, 大嶽康介, 渡邊顕弘, 城戸教裕, 田熊清継, 平泰彦, 森澤健一郎. 救急活動プロトコール改訂のプロセスを共有する 外傷プロトコールの改訂と実践 川崎市MC協議会の取り組み. 会議録. 第22回日本臨床救急医学会. 2019年5月；和歌山市

齋藤豊, 白川和宏, 石田径子, 土屋光正, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 進藤健, 竹村成秀, 塩島裕樹, 田熊清継. フォーカス不明の敗血症患者の予後は悪いか. 会議録/症例報告. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

三吉貴大, 進藤健, 土屋光正, 石田径子, 白川和宏, 植松敬子, 金尾邦生, 竹村成秀, 塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. くも膜下出血に対するSiriraj scoreの有用性の検討. 会議録. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

松村一希, 山元良, 鎌形知弘, 栗原智宏, 関根和彦, 田熊清継, 加瀬健一, 佐々木淳一. 気道熱傷における遅発性上気道狭窄の予測スコアに関する検討. 会議録. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

郷内志朗, 神尾義人, 平野雅巳, 田熊清継. 救急外来における内視鏡的異物除去用デバイスの安価な工夫. 会議録/症例報告. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

山川一馬, 丸藤哲, 梅村穰, 小倉裕司, 白石淳, 阿部智一, 齋藤大蔵, 久志本成樹, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 一二三亨, 増野智彦, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. JAAM FORECAST DIC研究. 会議録. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

一二三亨, 藤島清太郎, 丸藤哲, 阿部智一, 小倉裕司, 齋藤大蔵, 久志本成樹, 真弓俊彦, 白石淳, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 梅村穰, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 増野智彦, 山川一馬, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. β 溶連菌と肺炎球菌による重症敗血症と敗血症性ショック患者の病原性と臨床的特徴. 会議録. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

梅村穰, 田熊清継, 丸藤哲, 小倉裕司, 阿部智一, 藤島清太郎, 佐々木淳一, 齋藤大蔵, 久志本成樹, 真弓俊彦, 白石淳, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 椎野泰和, 白石振一郎, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 一二三亨, 増野智彦, 山川一馬, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. 本邦の救急領域における敗血症起因菌の評価 FORECAST sepsis サブ解析. 会議録. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

久志本成樹, 丸藤哲, 阿部智一, 小倉裕司, 齋藤大蔵, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 白石淳, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 梅村穰, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 一二三亨, 増野智彦, 山川一馬, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. 敗血症患者における入院時血糖値異常と臨床的特徴、重症化および臨床転帰 The FORECAST study 副研究. 会議録. 第47回日本救急医学会. 2019年10月；東京

久志本成樹, 丸藤哲, 阿部智一, 小倉裕司, 齋藤大蔵, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 白石淳, 池田弘人,

射場敏明, 上山昌史, 梅村穰, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 一二三亭, 増野智彦, 山川一馬, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. 敗血症患者における体温異常と臨床的特徴、初期治療および臨床転帰 The FORECAST study 副研究. 会議録. 第 47 回日本救急医学会. 2019 年 10 月 ; 東京

藤島清太郎, 丸藤哲, 阿部智一, 小倉裕司, 齋藤大蔵, 久志本成樹, 真弓俊彦, 白石淳, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 梅村穰, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 一二三亭, 増野智彦, 山川一馬, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. 急病呼吸促進症候群 (ARDS) の疫学、治療状況と転帰 FORECAST-ARDS 研究報告. 会議録. 第 47 回日本救急医学会. 2019 年 10 月 ; 東京

小倉裕司, 丸藤哲, 阿部智一, 齋藤大蔵, 久志本成樹, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 白石淳, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 梅村穰, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 萩原章嘉, 一二三亭, 増野智彦, 山川一馬, 山下典雄, 大友康裕, 日本救急医学会多施設共同試験特別委員会. FORECAST 研究・SPICE 研究・MAESTRO 研究の全体像と目指すもの. 会議録. 第 47 回日本救急医学会. 2019 年 10 月 ; 東京
土井賢治, 田熊清継. 火災で遭遇する多数熱傷患者-吸入損傷を中心に- 多数の気道熱傷患者が発生した場合の対応 川崎市内で発生した火災による多数傷病者事案. 会議録. 第 45 回日本熱傷学会. 2019 年 5 月 ; 北九州市

田熊清継, 佐々木淳一. 死亡原因となる熱傷感染症の予防と治療 日本熱傷学会 (JSBI) 熱傷診療ガイドラインより. 会議録. 第 32 回日本外科感染症学会. 2019 年 11 月 ; 岐阜市

藤田野々香, 塩島裕樹, 田熊清継. アルコール多飲によりメトホルミン関連乳酸アシドーシスに陥り循環不全となった一例. 会議録. 第 70 回日本救急医学会関東地方会. 2020 年 1 月 ; 前橋市

佐々木洋介, 田熊清継, 春成学, 高橋俊介, 清水梨々花. 明らかな外傷契機のない環椎骨折にて初めて腫瘍を指摘された 1 例. 会議録. 第 70 回日本救急医学会関東地方会. 2020 年 1 月 ; 前橋市

児玉充輝, 白川和宏, 土屋賢吾, 井上聡, 金子翔太郎, 鳥海聡, 石田径子, 土屋光正, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 進藤健, 塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. 循環動態が破綻したカフェイン中毒に対し迅速に腎代替療法を併用し救命し得た 1 例. 会議録. 第 70 回日本救急医学会関東地方会. 2020 年 1 月 ; 前橋市

田熊清継. 救急・外科領域感染症 up-to-date 熱傷患者の死因となる感染症 最新の JSBI 熱傷入院患者レジストリーと熱傷診療ガイドライン. シンポジウム. 第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会. 2019 年 10 月 ; 仙台市

齋藤豊. どのような発見状況の院内心停止で予後が悪いのか? 当院における院内心停止 6 年間の検討. 会議録. 第 47 回日本集中治療医学会学術集会. 2020 年 3 月 ; 名古屋市

(16) 歯科口腔外科

木村萌美, 安居孝純, 矢島祥助, 軽部健史, 佐藤仁, 小高利絵, 宮下英高, 岩崎良太郎, 筋生田整治, 鬼澤勝弘. 当院における前立腺癌骨転移患者の MRONJ 発生に関する臨床的検討. 口演. 第 64 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会. 2019 年 10 月 ; 札幌

(17) 検査科

三津田太郎. 輸血検査技師の精度保証 ～新しい時代 令和に国家試験より考える～. シンポジウ

ム、第 68 回神奈川県医学検査学会、2019 年 11 月；小田原市

(18) 看護部

渡邊 恭子、"外来看護師のがん化学療法を受ける患者に寄り添う姿勢～当院外来看護師が気になると感じた場面から～、日本看護学会慢性期看護、2019 年 11 月；鹿児島市

今 はるな、"ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（RALP）における肩甲骨部皮膚損傷発症の要因分析と予防対策の評価～白色ワセリンとピュアフィックスORを使用して～"、第 21 回日本褥瘡学会学術集会、2019 年 8 月；京都府（京都国際会館）

福永 歩実、クリティカル領域における早期栄養に対するスタッフの意識と行動変容、日本看護学会、看護管理 2019 年 10 月；名古屋市

臼田美奈子、NICU・GCU 病棟から小児病棟を経由した児の退院支援における看護師の思いとその背景、日本新生児看護学会学術集会、2019 年 11 月；鹿児島県

武田明日香、"外科病棟における褥瘡発生の分析 ～術後の褥瘡発生はゼロ、様々な患者が入院する外科病棟での予防ケア～"、第 21 回日本褥瘡学会学術集会、2019 年 8 月；京都府（京都国際会館）

佐藤 裕香、看護師と看護補助者との協働における課題、第 58 回全国自治体病院学会、2019 年 10 月；徳島市

根岸 愛、"始業開始前時間外業務に関する実態および意識調査～始業開始前時間外の短縮に向けて～"、日本看護学会、看護管理、2019 年 10 月；名古屋市

水嶋 真帆、災害時アクションカードを作成・活用（院内交流発表会）、第 58 回全国自治体病院学会、2019 年 10 月；徳島市

本多小百合、眼の粘膜曝露に関する意識調査、川崎市看護協会看護研究・事例報告会、2020 年 2 月；川崎市

中村有希、"ライフレビューを用いた患者の希望を支える看護。突然下肢麻痺が出現した終末期がん患者の関りを通して学んだこと"、川崎市看護協会看護研究・事例報告会、2020 年 2 月；川崎市

峰脇咲、死産を経験した母親との関りを振り返って、川崎市看護協会看護研究・事例報告会 2020 年 2 月；川崎市

出水 要子、ひとり一人が成長を実感できる職場づくりを目指して①、日本看護学会看護管理 2019 年 10 月；名古屋国際会議場

鳥海幸恵、"急性期病棟看護師が実践可能な ACP の検討—治療選択に困難を抱えたがん患者の一事例より"、日本エンドオブライフケア学会 2019 年 9 月；名古屋大学医学部基礎研究棟

7 講演会等

(1) 内科・総合内科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 31 年 4 月 6 日	川崎糖尿病懇話会 「第 22 回川崎糖尿病市民講座」	津村和大 (糖尿病内科)	健康お役立ち情報	高津市民館大 ホール
令和元年 5 月 21 日	川崎区医師会講演会 「第 65 回ミート・ ザ・スペシャリスト」	津村和大 (糖尿病内科)	日常診療で遭遇する内 分泌疾患の検査と治療	院内
令和元年 7 月 7 日	神奈川県歯科医師会 「糖尿病・歯周病に関 する歯科医療従事者 向け研修会」	津村和大 (糖尿病内科)	糖尿病の合併症と重症 化予防 ～ 歯科診療・ 口腔衛生指導に役立つ トピックス ～	神奈川県歯科 医師会館大会 議室
令和元年 7 月 8 日	川崎市健康福祉局保 健所健康増進課研修 会	津村和大 (糖尿病内科)	生活習慣病の保健指導 に役立つ検査データア セスメント	川崎区役所講 堂
令和元年 7 月 13 日	保健活動を考える自 主的研究会	津村和大 (糖尿病内科)	糖尿病協会の可能性 ～新しい価値観を支え るプラットフォーム～	大津プリンス ホテル
令和元年 7 月 27 日	第 44 回山形県糖尿病 教育スタッフ会	津村和大 (糖尿病内科)	糖尿病療養指導におけ るコンセンサス形成の 歩み	山形ビッグウ イング
令和元年 8 月 18 日	キッコーマン総合病 院	安藤 孝 (腎臓内科)	第 3 回 ICLS コース ディレクター	キッコーマン 総合病院
令和元年 8 月 19 日	医師事務作業補助者 研修	津村和大 (糖尿病内科)	内分泌疾患・血液疾患	院内
令和元年 9 月 12 日	キッセイ薬品工業株 式会社	安藤 孝 (腎臓内科)	当院腎臓内科の診療状 況ー上半期を振り返っ てー	川崎日航ホテ ル
令和元年 10 月 18 日	神奈川県栄養士会「臨 床栄養学セミナー」	津村和大 (糖尿病内科)	日本医療研究開発機構 (AMED) が推進する 糖尿病研究・栄養研究	神奈川県総合 薬事保健セン ター
令和元年 10 月 18 日	神奈川県栄養士会「臨 床栄養学セミナー」	津村和大 (糖尿病内科)	エビデンス創出につな がる栄養指導のヒント	神奈川県総合 薬事保健セン ター

令和元年 10月27日	川崎市立井田病院	安藤 孝 (腎臓内科)	緩和ケア講習会 ファ シリテーター	川崎市立井田 病院
令和元年 10月28日	臨床研究支援室 「2019年度臨床研究 支援講演会」	津村和大 (糖尿病内科)	臨床研究ことはじめ	院内
令和元年 10月29日	神奈川・東京糖尿病講 演会	津村和大 (糖尿病内科)	効果的な糖尿病療養指 導の実践と医療提供者 に求められる新しい視 点	Web 講演
令和元年 11月6日	第6回糖尿病診療の 最新の事情	津村和大 (糖尿病内科)	メディカルスタッフの ための臨床研究入門	アンフェリシ オン(江東区)
令和元年 11月10日	神奈川県糖尿病対策 推進会議「神奈川糖尿 病デー2019 市民講演 会」	津村和大 (糖尿病内科)	糖尿病のウソ? ホン ト? ～正しい情報を 知るために～	はまぎんホー ルヴィアマー レ
令和元年 11月12日	川崎市立川崎病院「糖 尿病市民公開講座」	津村和大 (糖尿病内科)	糖尿病治療のトピック ス	院内
令和元年 11月19日	川崎市医師会、川崎区 医師会、武田薬品工業 株式会社	安藤 孝 (腎臓内科)	血圧を測る、評価する	川崎日航ホテ ル
令和元年 11月25日	Diabetes Symposium in Kawasaki	津村和大 (糖尿病内科)	医療提供者に求められ る新しい視点	川崎日航ホテ ル
令和元年 11月30日	自治労神奈川県本部 衛生医療評議会「令和 2年度学習会」	津村和大 (糖尿病内科)	医療経済学の視点から 考える糖尿病	神奈川県地域 労働文化会館
令和元年 12月21日	日本糖尿病教育・看護 学会「糖尿病重症化予 防(フットケア)研修」	津村和大 (糖尿病内科)	糖尿病患者の足病変 ～病態生理から治療ま で～	済生会横浜市 東部病院ホー ル
令和2年 1月14日	川崎区役所地域みま もり支援センター「生 活習慣病予防講座」	津村和大 (糖尿病内科)	健診結果のココに注 目!	川崎区役所講 堂
令和2年 1月15日	川崎市病院局、東京 ガス株式会社川崎支 店「ドクターと学ぶ 健康料理教室」	津村和大 (糖尿病内科)	誤解されやすい糖尿病 ～正しい情報を知るた めに～	東京ガスキッ チンランド川 崎

(2) 小児科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 6月5.6日	電子カルテフォー ラム利用の達人	檜林敦	V08 新機能レビュー と、使いこなすための ヒント	ホテルフクラ シア晴海
令和元年 6月5.6日	電子カルテフォー ラム利用の達人	檜林敦	『右上肢血圧測定禁 止』、どうやって共有 していますか？	ホテルフクラ シア晴海
令和元年 6月5.6日	電子カルテフォー ラム利用の達人	檜林敦	アセスメントシート とテンプレートを使 った入退院支援記録	ホテルフクラ シア晴海
令和2年 1月23日	川崎市小児科医会	土橋隆俊	在宅移行を目的に当院 に転院になった医療的 ケアを要する児4例	川崎市医師会 館
令和2年 2月1日	電子カルテフォー ラム利用の達人	檜林敦	使えるテンプレート、 使いたくなるテンプレ ートを目指して	汐留シティー センター

(3) 整形外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 8月31日	Yokohama Hand Club 橈骨遠位端 骨折セミナー	西脇正夫	橈骨遠位端骨折に対す る近位設置型プレートの 適応を再考する	品川

(4) 精神科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 11月25日	大塚製薬	三浦 孝政	地域における川崎病院 精神神経科の 役割について	川崎病院講堂

(5) 泌尿器科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 6月11日	泌尿器科	原 智 前田 高宏	第7回川崎泌尿器科病 診連携会「尿沈渣所見 からわかること」「ロボ ット支援腹腔鏡下腎盂 部分切除術」	院内
令和元年 8月22日	患者総合サポート センター	前田 高宏	市民公開講座「毎日を 心地よく、自分らしく。 夜間頻尿でわかる身体 のサイン」	院内
令和元年 12月1日	川崎市泌尿器科医 会	原 智	市民公開講座「PSA と前 立腺癌について」	ソリッドスク エアホール

(6) 眼科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和2年 1月30日	川崎市立川崎病院	小澤 紘子	医師事務作業補助講義 眼科	院内

(7) リハビリテーション科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 8月29日	リハビリテーショ ン科	山本 美夕紀、中村 優太	嚥下について誤嚥しにく いポジショニングとは	院内
令和元年 9月27日	リハビリテーショ ン科	中村 優太	患者さんの力を生かした 寝返り、起き上がり動作	院内
令和元年 10月18日	患者総合サポート センター	橋本 祥太郎	人工股関節置換術後のリ ハビリと家でもできる簡 単エクササイズ	院内
令和元年 11月12日	糖尿病診療連携委 員会	小田桐 航太	糖尿病と運動～自宅でも できる運動から～	院内
令和元年 11月16日	社会福祉法人川崎 市川崎区社会福祉 協議会 川崎区社 協福祉祭り実行委 員会	小田桐 航太	健康寿命を延ばそう！～ 運動から始まるフレイル 予防～	川崎市教育 文化会館

令和元年 12月10日	リハビリテーション科	中村 優太	移乗	院内
令和2年 1～2月	リハビリテーション科	中村 優太	移乗	院内
令和2年 2月20日	NST部会／早期離床・リハビリテーションCWG合同研修会	阿部 玲音	早期離床・リハビリテーションと急性期の経腸栄養 第一部 早期離床の必要性～なんで寝かせてちゃいけないの	院内

(8) 放射線診断科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 6月3日	川崎市放射線科医会	倉田 忠宜	動脈疾患の画像診断－CTを中心に－	川崎市医師会館
令和元年 6月10日	東海道画像懇話会	宮崎 恭助	PET-CT導入から稼働1年目までの苦労話～がん診療の診断と治療成績向上に向けて～	エーザイ株式会社 横浜コミュニケーションオフィス 会議室
令和元年 10月10日	川崎市病院協会	小野 欽也	災害時情報整理（クロノロ）研修	川崎市母子・父子福祉センター
令和元年 11月14日	川崎市幸区災害対策協議会	小野 欽也	ロジスティクスの基礎知識、災害時D-MAT・支援チーム受援訓練	幸区役所3階ホール
令和元年 11月18日	川崎病院の放射線診断科、薬剤部、リハビリテーション科、MEセンター、検査科	石崎 浩史	画像診断における糖尿病の合併症	院内
令和元年 12月6日	健康福祉局	小野 欽也	災害時情報管理、クロノロジー及びEMISの演習	JA セレサみなみビル

令和2年 1月27日	健康福祉局	小野 欽也	災害時情報管理、クロ ノロジー及びEMISの 演習	JA セレサミ なみビル
令和2年 2月16日	神奈川県放射線技 師会	佐藤 宏朗	小児の画像診断－救急 疾患を中心に－	神奈川県総合 医療会館
令和2年 3月4日	川崎病院放射線診 断科	堀口 将生	診療用放射線に係る安 全管理の整備について	院内

(9) 麻酔科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 8月17日	北里大学	逢坂 佳宗	超音波ガイド下ブロッ ク	北里大学

(10) 歯科口腔外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年6月 28日	川崎市歯科医師 会	鬼澤 勝弘	第30回川崎病院症例 検討会 「嚢胞をみ つけましょう」	川崎市歯科 医師会館
2019年11月 22日	川崎市歯科医師 会	安居 孝純	第31回川崎病院症例 検討会「歯根端切除 術による歯の救済」	川崎市歯科 医師会館

(11) 検査科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成31年 4月14日	検査科勉強会	安部 さやか	動脈硬化と血圧脈波検 査	4階会議室
令和元年 6月11日	検査科勉強会	工藤 美樹	標準予防策と手指衛生	4階会議室
令和元年 7月9日	検査科勉強会	井上 智佐子	第13回病理学技術者 講習会報告	4階会議室
令和元年 10月8日	検査科勉強会	畠山 みり	赤血球により感染した と考えられる輸血後C 型肝炎の一例について	4階会議室

令和元年 11月12日	検査科勉強会	寺岡 和香	起立負荷心電図	4階会議室
令和元年 12月10日	検査科勉強会	横屋 瀬里香	災害訓練の報告等	4階会議室
令和2年 2月12日	検査科勉強会	屋代 ふみ	熊本市市民病院を 見学して	4階会議室
令和2年 3月10日	検査科勉強会	畠山 みり	IPS血小板製剤の展望	4階会議室

(12) 救急科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年 5月25日	日本熱傷学会	田熊 清継	14th ABLIS Provider Course in Japan	国立病院機構 別府医療セン ター
令和元年 7月25日	川崎市消防局	田熊 清継	熱傷の初期対応につい て	川崎市消防局

(14) 食養科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
令和元年5月 ～令和2年2 月	NST 部会	”阿部玲音、相馬裕 樹、 占瀬美穂、長澤恵梨 子、 井上彰大、寺岡和香、 小島巖、山本美夕紀”	NST 勉強会 (計4回実施)	院内
令和元年6月 24日・26日	食養科	松田 紫恵（川崎区 地域みまもり支援セ ンター（福祉事務 所・保健所支所）衛 生課）	食品衛生講習会	院内
令和元年 11月11日	褥瘡委員会	清水谷弘美	褥瘡勉強会 褥瘡と 栄養	院内

(15) 看護部

152 ページ参照

8 その他

(1) 内科

(マスコミ) 津村和大, 特集番組「快適睡眠があなたを変える!」, テレビ神奈川, 令和2年2月

(2) 整形外科

(新聞) 中道憲明, 肩の痛み、どうします?, 朝日新聞, 2019年8月3日

(雑誌) 中道憲明, 五十肩、いいえ、腱板断裂, 婦人之友, 2019年6月号

9 市民対象イベント(当院主催)

(1) 市民公開講座

実施日	講師	演題	開催場所	参加者数
平成31年 4月19日	今西 順久 古瀬 美穂	「最期まで『美味しく食べれる』幸せを」	院内	134名
令和元年 6月21日	今西 智之 森 亜沙美	「くも膜下出血 って、どんな病気?」～正しい理解と予防こそが大切です!	院内	141名
令和元年 8月29日	前田 高宏 岩本 祥子	「毎日を心地よく、自分らしく」～尿について学びませんか～	院内	134名
令和元年 10月18日	山口 健治 橋本 祥太郎	「変形性股関節症」～自分の足で、もう一度行きたい場所へ～	院内	94名
令和元年 12月19日	近藤 崇之 清水谷 弘美	「はじめよう!大腸がん予防」～美味しく、楽しく、末永く～	院内	106名
令和2年 2月17日	北薊 久雄 鳥海 幸恵	「認知症を知る」～いつまでも自分らしく過ごすために～	院内	110名

(2) 看護の日イベント

実施日	内容	開催場所	参加者数
令和元年 5月10日	・AED講習会 ・血圧測定 ・看護相談 ・栄養相談 ・お薬相談 ・電子お薬手帳体験	院内	84名

(3) 院内コンサート

実施日	出演者	内容	開催場所
令和元年 12月2日	東京交響楽団	木管五重奏 (クリスマスコンサート)	院内

編 集 後 記

2019年は、30年在位した天皇陛下が退位し、平成から令和に改元されました。
川崎病院としては、新たに金井新病院長をお迎えしました。

金井病院長は、当院の持っているポテンシャルを最大限発揮させるべく、院長メッセージや院長ヒアリング等を通じ、医師をはじめ職員に向けて、働き方改革、地域完結型医療や経営改善を含めて取り組むべき課題・方向性を示されました。令和元年としての川崎病院の新たなスタートとなりました。

そして、翌年2月、クルーズ船コロナウイルスの出現から、COVID-19との闘いが始まり、未知の病気に対し、感染症指定医療機関としての責務を果たすべく、医師・看護師・その他病院職員が一丸となって取り組んでおります。

今後も地域の拠点病院として、市民の皆様の期待に応えられる病院運営に努めてまいります。

編集にあたり、忙しい日常の診療の合間を縫って原稿作成をお引き受けいただきました各診療科・部門の責任者と執筆者の皆様に深く感謝申し上げます。

事務局長 林 徳厚

川 崎 市 立 川 崎 病 院 年 報
第55号（令和元年度版）
令和2年12月10日発行

編集・発行 川崎市立川崎病院
〒210-0013 川崎市川崎区新川通12番1号
電 話 044（233）5521（代）
F A X 044（245）9600

川崎病院ホームページ
（<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/index.>）
印 刷 所 株式会社 エイシン川崎

